

資 料 集

今、求められている
学校づくりのために

◁◁ 京都市新世紀教育改革推進プロジェクト ▷▷
「学校評価部会」まとめ

平成15年3月
京都市教育委員会

小学校編

平成14年度 学校評価システム年間計画

京都市立朱雀第二小学校

時 期	学校評価の流れ	自己評価	外部評価
4月 5月	前年度の学校評価から学校教育計画を立案する。 ・学校教育目標 ・めざす子ども像 ・重点課題・目標の設定	学級経営案に基づく計画立案及び各部委員会計画 ・学年学級目標 ・めざす子ども像 ・学級経営の構想 ・めざす授業, 具体的な指導 ・生徒指導	教育計画の保護者・地域・学校評議員への説明 ・学校だより ・PTA総会 ・学級懇談会 ・学校評議員との個別懇談
4月～ 7月	授業参観, 休日参観, 行事参観の実施	計画に基づく実践活動の自己評価と振り返り ・学級経営案 ・自己評価カード ・職員会議	保護者・地域・学校評議員からの外部評価の実施 ・学級懇談会 ・アンケート調査
7月	学校評価の <u>実施</u> ・自己評価・外部評価の内容の提示と共通理解		
8月	学校評価の <u>分析</u>	1学期の自己評価に基づく2学期の計画の立案 ・学級経営の重点課題 ・各部委員会の重点課題	・学校評議員の集い
9月	学校評価の <u>公表</u> ・学校だより ・学級懇談会 ・学校評議員との懇談	2学期の計画に基づく実践活動	学校評価の公表と重点課題の説明 ・学校だより地域版 ・PTAや各種会合での説明 学校評議員との個別懇談
9月～ 12月	授業参観, 公開研究報告, 休日運動会, 行事参観		
12月	学校評価の <u>実施と公表</u> ・学校だより ・学級懇談会 ・学校評議員との懇談	自己評価の実施 ・学級経営案 ・自己評価カード ・職員会議	外部評価の実施 ・学級懇談会 ・アンケート調査 ・学校評議員との懇談
1月	年度末学校評価の <u>内容提示と検討</u>	2学期の自己評価に基づく3学期の計画の立案	
2月	・授業参観, 公開研究報告 ・自由参観日 ・生活科「朱にっこ」伝える会	・学級経営の重点課題 ・各部委員会の重点課題 年度末自己評価の実施	参観, 研究報告会, 伝える会 アンケート 年度末外部評価の実施
3月	年度末学校評価の <u>実施</u> 年度末学校評価の <u>分析と公表</u> 次年度の教育計画案の <u>立案と検討</u>	・学級経営案, 自己評価カード, 職員会議 校長による教職員との個人懇談	・学級懇談会 ・アンケート調査 ・学校評議員の集い

平成14年度 1学期 自己評価カード

京都市立朱雀第二小学校

氏名 _____

◇ねらい

教職員の教育活動について自己評価し、指導方法や内容の改善を図り、学校運営に生かす。

◇評価の尺度

4	大変よくなった	指導の効果がとても上がった	大変がんばった
3	少しよくなった	指導の効果が少し上がった	少しがんばった
2	少し悪くなった	少し逆効果だった	努力がたりなかった
1	大変悪くなった	大変逆効果だった	全く努力しなかった

* 評価項目 (該当する数字に○をつけてください)

自己評価<児童との関わりについて>		
①	子どものよいところをほめたり注意するなど、積極的に関わっている。	4-3-2-1
②	様々な問題行動にいつでも対処できるように心がけている。	4-3-2-1
③	子どもや保護者の願いに応えるように努力している。	4-3-2-1
④	子どもとともに汗を流して活動している。(清掃活動、環境美化活動等)	4-3-2-1
⑤	子どもの人権意識が高まるように、学年を問わず働きかけている。	4-3-2-1
⑥	子どもが生き生きと学ぶことができる環境づくりに心がけている。	4-3-2-1
⑦	学校行事が子どもにとって魅力あるものになるよういつも考えている。	4-3-2-1
⑧	子どもの健康や安全を守るために校内環境に気を配っている。	4-3-2-1
⑨	保護者や地域の方々と積極的に関わろうとしている。	4-3-2-1
自己評価<職場の人間関係について>		
①	教職員がお互いに尊重される職場であるように気をつけている。	4-3-2-1
②	各分掌や学年間の連携を大切にしている。	4-3-2-1
③	互いに認め合える教職員の人間関係づくりに努めている。	4-3-2-1
④	教職員間の相互理解や信頼関係が深まるように努力している。	4-3-2-1
自己評価<教職員の職務について>		
①	自分の職務を自覚し、責任を果たしている。	4-3-2-1
②	校内研修の大切さを理解し、創意工夫に努めている。	4-3-2-1

③	研修に参加した成果を他の教職員に伝えている。	4-3-2-1
④	教育委員会などが主催する研修会に積極的に参加している。	4-3-2-1
⑤	職員会議などで自分の考えや意見を積極的に伝えている。	4-3-2-1
⑥	公文書の処理など適切に行っている。	4-3-2-1
⑦	服務規律を遵守するようにしている。	4-3-2-1
⑧	教育公務員として自覚ある生活をしている。	4-3-2-1
学校評価<学校運営に対する評価>		
①	校長は教育理念や学校運営についての考えを明らかにしている。	4-3-2-1
②	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	4-3-2-1
③	学校運営に教職員の意見が反映されている。	4-3-2-1
④	教職員の適性や能力に応じた校務分掌の分担がなされている。	4-3-2-1
⑤	教職員が意欲的に取り組める環境整備(人的・物的)に努めている。	4-3-2-1

*その他、本校教育を充実・発展させるために気づいたことや改善点がありましたら記入して下さい。

平成14年度 自己評価カード

京都市立朱雀第二小学校

()年()組 氏名

ねらい

教育目標や学級目標、努力点、指導内容について反省・評価し、指導方法や内容の改善を図る。

評価の尺度

4	大変よくなった	指導の効果がとても上がった	大変がんばった
3	少しよくなった	指導の効果が少し上がった	少しがんばった
2	少し悪くなった	少し逆効果だった	努力がたりなかった
1	大変悪くなった	大変逆効果だった	全く努力しなかった

評価項目(該当する数字に○をつけてください)

1. めざす授業について

①	はっきりした「めあて」のある授業 ～どの時間も「めあて」意識があるか～	4-3-2-1
②	ひたむきに追求する活動のある授業 ～活動時間が確保され、各自が熱中しているか～	4-3-2-1
③	よさを認め、うなずきのある授業 ～意見交流の時間が確保され、生かされているか～	4-3-2-1
④	学習の跡がわかる表現のある授業 ～ノートや掲示物に学習の積み上げが見えるか～	4-3-2-1

2. 学級経営について

①	各教科等の基礎・基本を明確にして、指導の充実に努めた。	4-3-2-1
②	学習指導において、課題解決学習を中心とした自力解決活動に努めた。	4-3-2-1
③	地域(もの、こと、人)に関わる体験活動の充実に努めた。	4-3-2-1
④	「生活」や「総合的な学習の時間」の充実に努めた。	4-3-2-1
⑤	週案を作成し、時数や内容等の自己管理に努めた。	4-3-2-1
⑥	週案の中で、特色ある教育課程を意識して計画し実践した。	4-3-2-1

3. 具体的な指導について

①	子どもが活動しやすい「めあて」を設定し、授業を進めた。	4-3-2-1
②	子どもが思いや願いを表す表現の場を設定した。	4-3-2-1
③	子どもが自分で学習できるように学習環境を整備している。	4-3-2-1

④	子どもが自分で学習できるように学習の基本的な訓練を行い、学習の仕方を身につけさせた。	4-3-2-1
⑤	子どもが見通しを持ち主体的に活動するために、単元や本時の学習計画を提示した。	4-3-2-1
⑥	一人一人にわかる授業を工夫した。	4-3-2-1
⑦	子どもの基礎的基本的な学力向上のために、朝の帯時間を活用して計画的・継続的な取組を行った。	4-3-2-1
⑧	課外学習の時間を活用して、補充的学習や発展的学習を計画的に実践した。	4-3-2-1

4. 生徒指導、学級づくりについて

①	子どもとともに汗を流して活動している。(清掃活動、環境美化活動等)	4-3-2-1
②	互いに認め合える人間関係づくりに努める。	4-3-2-1
③	一人一人の子どもの不安や悩みをすばやくキャッチし、適切に支援する。	4-3-2-1
④	子どものよいところを積極的に見つけ、ほめている。	4-3-2-1
⑤	一人一人の子どもの思いや願いを把握している。	4-3-2-1
⑥	一人一人の子どもの課題や生活背景を把握している。	4-3-2-1
⑦	保護者の思いや願いを把握している。	4-3-2-1
⑧	子ども同士のトラブル、いじめ等を見過ごさず、積極的に家庭訪問をし、解決しようとしている。	4-3-2-1

5. その他、本校教育を充実・発展させるために気づいたことや改善点がありましたら記入して下さい。

保護者の皆様

京都市立朱雀第二小学校
校長 多紀 俊秀

にこにこアンケート



いちばんあてはまるものに○しるしをつけてください。

・ () のなかには、あてはまるものを書いてください。
できれば名前を書いてください。()

1	あなたは、 ^{がっこう} 学校が楽しいですか。	<table border="0"> <tr> <td>すごく楽しい</td> <td>楽しい</td> <td>あまり楽しくない</td> <td>楽しくない</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘</td> </tr> </table>	すごく楽しい	楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘			
すごく楽しい	楽しい	あまり楽しくない	楽しくない							
└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘										
2	^{ともだち} 仲良しの友だちがいますか。	<table border="0"> <tr> <td>たくさんいる</td> <td>いる</td> <td>あまりいない</td> <td>いない</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘</td> </tr> </table>	たくさんいる	いる	あまりいない	いない	└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘			
たくさんいる	いる	あまりいない	いない							
└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘										
3	^{がくしゅう} 学習（ ^{じょうぎょう} 授業）はよくわかりますか。	<table border="0"> <tr> <td>よくわかる</td> <td>わかる</td> <td>あまりわからない</td> <td>わからない</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘</td> </tr> </table>	よくわかる	わかる	あまりわからない	わからない	└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘			
よくわかる	わかる	あまりわからない	わからない							
└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘										
4	好きな ^{がくしゅう} 学習はありますか。	<table border="0"> <tr> <td>たくさんある</td> <td>ある</td> <td>あまりない</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘</td> </tr> </table>	たくさんある	ある	あまりない	ない	└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘			
	たくさんある	ある	あまりない	ない						
└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘										
	どんな ^{がくしゅう} 学習がすきですか。 (いくつかいてもいいよ。)	()								
5	「 ^{あそび} あそび」などでいろいろな人と活動するのは楽しいですか。	<table border="0"> <tr> <td>すごく楽しい</td> <td>楽しい</td> <td>あまり楽しくない</td> <td>楽しくない</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘</td> </tr> </table>	すごく楽しい	楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘			
すごく楽しい	楽しい	あまり楽しくない	楽しくない							
└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘										
6	先生にいろいろなことを話しますか。	<table border="0"> <tr> <td>よく話す</td> <td>話す</td> <td>あまり話さない</td> <td>話さない</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘</td> </tr> </table>	よく話す	話す	あまり話さない	話さない	└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘			
よく話す	話す	あまり話さない	話さない							
└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘										
7	先生は自分たちのことをよくわかってきていると思えますか。	<table border="0"> <tr> <td>よくわかってきている</td> <td>わかってきている</td> <td>あまりわかってきていない</td> <td>わかってきていない</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘</td> </tr> </table>	よくわかってきている	わかってきている	あまりわかってきていない	わかってきていない	└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘			
よくわかってきている	わかってきている	あまりわかってきていない	わかってきていない							
└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘										
8	^{がっこう} 学校で ^{たのしみ} 楽しみな ^{ぎょうじ} 行事はありますか。	<table border="0"> <tr> <td>たくさんある</td> <td>ある</td> <td>あまりない</td> <td>ない</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘</td> </tr> </table>	たくさんある	ある	あまりない	ない	└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘			
	たくさんある	ある	あまりない	ない						
└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘										
	どんな ^{ぎょうじ} 行事が楽しみですか。	()								
9	家に帰って学校での ^{はなし} 話や先生の ^{はなし} 話をよくしますか。	<table border="0"> <tr> <td>よくする</td> <td>する</td> <td>あまりしない</td> <td>しない</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘</td> </tr> </table>	よくする	する	あまりしない	しない	└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘			
よくする	する	あまりしない	しない							
└──────────┬──────────┬──────────┬──────────┘										

アンケートのお願い

一学期を終え、間もなく夏期休業に入ろうとしております。この一学期間、本校の教育に深いご理解と温かなご支援をいただき、深く感謝いたしております。

さて、下記のアンケートは、毎日の子どもたちの学校生活を生き生きとした楽しいものにするため、また、今後の学校改善に役立てるために、保護者の皆様からのご意見をお聞きするものです。お手数をおかけしますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

◎ …よくあてはまる ○…あてはまる △…どちらともいえない ×…あてはまらない
(各項目の空欄にご記入ください。)

①	子どもは楽しく学校に行っている。	
②	子どものことについて、気軽に相談できる。	
③	子ども一人一人が大切にされ、認められる学校づくりに取り組んでいる。	
④	学校は教育方針や取組を学校だよりや懇談会の機会等にわかりやすく伝えている。	
⑤	学習の内容や進度を懇談会や学年・学級通信等によってよく知ることができる。	
⑥	学習内容がわかり、基礎的な学力が身についている。	
⑦	教職員が熱意をもって教育にあたっている。	
⑧	様々な取組や行事を通して、学校・家庭・地域が連携し、子どもの教育にあたっている。	

本校の教育についてのご意見がありましたらお書きください。

学校週5日制が完全実施されました。感想・ご意見や学校への要望がありましたら、お書きください。

朱二小だより 地域版 平成14年9月 京都市立朱雀第二小学校 Tel. 841-3202 / Fax. 841-3216 http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/suzakudai2-s/

行事いっぱいの新学期！

どこまで気温は上がるのだろうかというほど暑い夏でした。長い休みが終わり、校舎に、子どもたちの歓声が戻ってきました。真っ黒に日焼けした子どもたちは夏休みのうちに一段とたくましく大きくなったように感じます。ランチガーデンでは今年も5年生がバケツに稲を作っています。この夏の暑さのおかげで、ずいぶん成長して実をつけ穂をたれ始めています。いろいろ思わぬ出来事も起きて、あれこれ悩みながら見守る毎日でもあります。2学期は運動会や学芸会、全校遠足など大きな行事が多い学期です。一つ一つの行事を通して子どもたちは着実に力を身に付けていきます。子どもたちにとって実りの多い2学期となるよう、今学期も頑張っていきます。皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



今年が21日(土)に ～休日運動会～

初秋といえは運動会。練習の日程がたいへん厳しいですが、子どもたちはいっしょけんめい練習に取り組んでくれることでしょう。当日のがんばっている姿だけでなく、当日までの子どもたちのがんばりにもあたたかい拍手をお願いします。また、ご家庭や地域でも励ましの声をかけていただくことがたく存じます。なにかと行事などご多用かと存じますが、多数お誘い合わせの上、おいでいただければ幸いです。なお、今年度も敬老席をもうけるよう計画しておりますので、どうぞご利用ください。(写真は昨年休日運動会)



朝の読書をより楽しく

2学期もお世話になっています～読書ボランティアのみなさん！時間目のはじまる前、木曜と金曜は読書の時間をとっています。この時間に、2学期もまた読み聞かせにきていただきまました。学年にあった内容を用意していただいているお話をかけて、どこの学級でもお話の中に入り込んで聞いている姿が見られます。これからもまたお世話になります。よろしくお願いいたします。

生の音楽にひたる日でした 音楽鑑賞

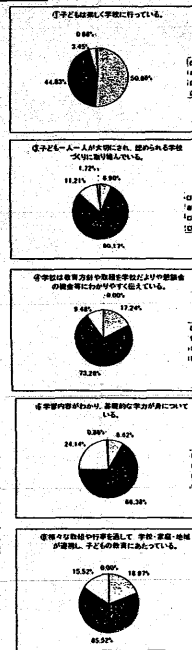
8日(日)、京都市立芸術大学音楽学部から学生オーケストラ・コーラスが来演しました。児童・保護者・地域の皆様あわせて参加者は約300名にもなりました。大盛況でした。クラシックの名曲から唱歌メドレー、ディズニーメドレー、そして最後に本校本田先生の指揮による校歌の演奏です。また「指揮者体験」には2年生の安達君が挑戦しました。終了後は交流会をもち、芸大の学生さんたちと子ども・地域の方々との楽しいひとときをもちことができました。



学校のとりくみと課題 ～1学期学校評価から～

1学期末にお書きいただいたものから抜粋し報告します。子どもたちが楽しく学校に通っていること、学校取り組みの広報によるわかりやすさ、教職員の熱心さなどについて、昨年度に比べ高い評価をしていただいていることがわかります。いっぼうで基礎的な学力保障に向けた取り組みの充実や学校・家庭・地域の連携という部分について要望の高いこともうかがえます。基礎学力の向上に向けての取組は (1)朝の帯時間、課外学習の時間の設定、夏期休業中の学習会など、普通授業の創意工夫とともに力を入れて取組を進めているところです。(2)連携の部分については、朱にっご先生をはじめPTA読書ボランティアやスポーツクラブ「友達」、音楽クラブ「藤々」の発足など多くの方々のご協力により、少しずつ休日の受け皿や学校教育活動への参画として連携が発展してきているように思います。これらの部分については、さらに取組を充実させると共に広く知っていただく機会を設けることを考えています。

★本校教育へのご意見から 朱にっご総合学習のことが充実してやっているように見受けられますが、本来の基礎学力的な常の勉強の方がどうかな～と思われまます。いろいろすることは多いように思いますが、まんべんなくやってほしいものです。読み書き計算等もう少し基礎的な学力をつける時間をとってほしい。PTA主催でいろいろな企画をしてくださっていますが、参加者が少ないのが気がかりです。学校-PTA-地域全体のような企画ができればよいのですが、学校の方からもご提案お願いいたします。PTAがいろいろな活動を企画し、内容もいいと思います。PTAの積極的な態度がある反面、出席者が少ないのは残念です。読み聞かせの企画は大成功だったと思います。ボランティアの皆様ありがとうございました。～学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました～



ときおり愛宕山や比叡山が白雪をまとい、ますます寒さが厳しくなってきました。3学期の始まりです。今年もまた地域の皆様には何かとお力をお借りすることがあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いたします。



～平成14年を振り返って～ 完全学校週五日制のはじまり 新しい学習指導要領が実施され、教育改革元年度も終わろうとしています。

ゆとりの中で生きる力をはくくむことを目標に、家庭・地域の連携を強め、確かな学力とたくましく生きる力を身につけようという取り組みが盛り込まれました。この一年を子ども・教職員・保護者・地域の方々などのように受け止めたのか様々なアンケートや懇談・評価活動からまとめてみました。これらの結果について、ご意見等ございましたら、何なりと学校までお寄せください。

【児童】2学期「にこにこアンケート」より 学校週五日制のもと、土日が休みになるとともに新学習指導要領の実施により学習内容や学習方法、評価の仕方が変わりました。子どもたちは、これらの変化をどのように受け止めているのか、アンケート調査を実施しました。・学校生活は「学習がわかる」「友だちがたたくさいる」ことによって楽しいと感じています。・また、総合的な学習と教科学習の中で、保護者や地域の方々ともふれあいながら活動することを楽しんでくれています。・しかし、先生と話をしたり、学習のことをおうちのひとに話すなどの点において、充分ではない様子がわかります。・子どもたちが学習のことや友だちのことなど進んで話せるよう、ご家庭でも声かけをよろしくお願いいたします。

【保護者】2学期末アンケートより 前回調査(7月)と比較すると③基礎的学力の家庭・地域との連携の2項目について、ポイントが上がっています。これは下記の教職員評価の結果からみられるように、1学期の保護者アンケートの結果や自己評価の反省から、授業の改善や朝の学習、課外学習の取組が充実してきたこと、また学習ボランティア等、保護者・地域の方々のご支援ご協力が拡大した結果ではないかと考えられます。しかし、他の項目については、前回と大きな差はないものの、④気軽に相談できる⑤学校や先生の話をよくする項目等は、若干ポイントが下がっています。2学期は行事などが多く、子どもの学校での様子を見ていただく機会が多かったものの、懇談等が十分でなく、担任・保護者の意識疎通がもっと必要であったと思われる。

【教職員】1・2学期末の自己評価より 平成14年7月の自己評価では、学習環境、学習計画の提示、朝や課外学習の取組など子どもの基礎学力充実に向けた取組が不十分であったと思われる。新しい制度のもとで、その枠組みやシステムの構築はできたものの、内容的には充実させることが十分できなかったことが、下記のグラフからも分かります。このことは、保護者アンケートの結果やたくさん頂いたご意見の内容とも合致するところが多いように思います。これらの学校評価を謙虚に受け止め、夏期休業を以て2学期以降の取組に生かすことができたように思います。まだまだ不十分なところはありますが、双方向の情報発信・受信をさらに進め、よりよい学校づくり、たくましく生きる子どもの育成に向けて努力したいと考えています。

【地域】 なお、地域の方々の御意見はこれらのアンケート結果を基に、昨年8月と今年一月に学校評議員の集いを開催し、学校の取組に対して一定の評価をいただきました。

学校長 多紀 俊秀

月	自己評価	担当	外部評価
4	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の立ち上げ ・学級経営案作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校長 ・学校評価委員会 ・全教員 	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日 外部評価（アンケート）
5	<ul style="list-style-type: none"> ・年間評価計画の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日，PTA総会 外部評価（アンケート） ・外部評価項目の検討
6	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価項目の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価委員会 ・職員会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA運営委員会 学校評価のねらいの周知 ・日曜参観 外部評価（アンケート） ・外部評価の分析 アンケート結果の公開
7	<ul style="list-style-type: none"> ・全体での共通理解 評価の意義，ねらい ・自己評価の実施 （1回目） 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議 ・全教員 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA運営委員会 アンケート結果の公開 ・参観週間 外部評価（アンケート） ・1学期末個人懇談会 ・第1回学校評議員の会 アンケート結果の公開 ・学校だよりで情報発信
8	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の分析 ・自己評価表，学級経営案 の自己評価から 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価委員会 ・職員会議 	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育活動への活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価を学校教育活動 への活用 ・参観日 外部評価（アンケート）
10	<ul style="list-style-type: none"> ・年間まとめの自己評価表 （3学期実施分）の項目決 定 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日 外部評価（アンケート） ・外部評価の分析（その2）
11		<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA運営委員会 アンケート結果の公開 ・参観週間 外部評価（アンケート） ・学校評議員から意見聴取 アンケート結果の公開
12	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価の実施 （2回目） ・自己評価の分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員 ・学校評価委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりで情報発信 ・2学期末個人懇談会
1			<ul style="list-style-type: none"> ・参観週間 外部評価（アンケート）
2	<ul style="list-style-type: none"> ・学年末自己評価の実施 （3回目） ・自己評価の分析 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員 ・学校評価委員会 ・職員会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・参観日 外部評価（アンケート） アンケート結果の公開
3	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末反省と次年度に向 けての方針の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA運営委員会 ・第2回学校評議員の会 アンケート結果の公開 ・学校だよりで情報発信

学校教育活動自己評価

名前()

A=できている B=どちらかといえはできている
C=どちらかといえはできていない D=できていない

1 学校教育目標、子ども像について		改善点等
①教職員として校務分掌の経営計画や指導計画に基づいて、組織的に教育目標の達成に向け、具体的な取組をしている。	A B C D -----	
②教職員として今の立場で目指す子ども像の具現化のため、具体的で積極的な子どもや親への働きかけをしている。	A B C D -----	
③明るく、元気に挨拶したり、素直に受け答えができる。(以下子ども像)	A B C D -----	
④思いやり、優しさをもって、友達に接することができる。	A B C D -----	
⑤自分から進んで学習し、課題を解決することができる。	A B C D -----	
⑥ルールやマナーを守り、より楽しい学級や学校にすることができる。	A B C D -----	
⑦整理・整頓をしっかりとし、学級や学校を美しくすることができる。	A B C D -----	
⑧基本的な表現方法を身に付け、自分らしさを生かした表現ができる。	A B C D -----	
2 学級目標について		改善点等
①子どもの実態や課題に応じて、目標を具体化し、計画的に重点をかけた学級づくりを行っている。	A B C D -----	
②目標実現に向けて連携・協力して取り組み、児童の平素の活動の中に、学級目標具現の様子が見られる。	A B C D -----	
3 研究の重点について		改善点等
①子どもの思考の流れに沿った学習活動を進めていくためのカリキュラム編成及び学習過程の工夫をしている。	A B C D -----	
②1ユニットを15分とした弾力的な時間の運用を行っている。	A B C D -----	
③基礎・基本の定着と個性の伸長を図る指導と評価を行っている。	A B C D -----	

4 総合的な学習等の進め方について		改善点等
①年間活動計画をもとに、見通しをもって取組を進めている。	A B C D -----	
②人・環境に視点を当てた、課題性・系統性のあるカリキュラムにもとづいて取組を進めている。	A B C D -----	
③地域素材の教材化、地域人材の積極的な活用を図り、学習成果が上がっている。	A B C D -----	
④意欲的に学習を進めていくことができる自己評価、相互評価等を工夫するとともに、「ポートフォリオ評価」を実践している。	A B C D -----	
⑤子ども達が図書館やコンピュータ等を活用し、情報活用・処理ができるように環境づくりや指導の工夫を行っている。	A B C D -----	
⑥子ども達は、中間や最終の発表会で、自分らしい表現の仕方での発表したり、まとめたりしている。	A B C D -----	

5 社会科・生活科・生活単元学習の進め方について		改善点等
①主体的な学びを自分のものとする学習過程を大切にし、子ども達が主体的に問題解決していくことができる力を育成する授業を行っている。	A B C D -----	
②地域素材の教材化を行い、授業に生かしている。	A B C D -----	
③子ども達が意欲的に学習を進めていくことができる自己評価や相互評価を活用している。	A B C D -----	
④子ども達が生活科、社会科、生活単元学習が好きである。	A B C D -----	

6 各教科学習の進め方について		改善点等
①各教科とも子どもの主体的な学習を確立するための教師の支援のあり方について共通理解し、個に応じた指導の工夫と、基礎・基本の徹底を図っている。	A B C D -----	

7 情報教育について		改善点等
① コンピュータリテラシーに関する指導を行っている。	A B C D -----	

8 道徳教育について		改善点等
① 道徳の授業時数が確保され、道徳学習に関する子ども達の意識が高まっている。	A B C D -----	

9 生徒指導について		改善点等
① 学校のきまりと約束は、教職員で共通理解を図り、子ども達に対する指導が徹底されている。	A B C D -----	
② 自尊感情・人権感覚・共生意識のそれぞれの高揚を図り、安心・自信・自由が保障された学校づくりができています。	A B C D -----	
③ 児童理解に努め、そのための家庭訪問ができています。	A B C D -----	

10 人権教育(同和・外教・養育・男女平等)について		改善点等
① 人権学習は、年間計画に基づき、学習を進めている。	A B C D -----	
② トライ・マスター等は、福祉地区の子どもをはじめすべての子どもの学力保障に役立っている。	A B C D -----	
③ 養護育成教育が充実し、交流教育等でこの発達段階に応じ、育成学級、普通学級のそれぞれで取り組んでいる。	A B C D -----	
④ すべての学級教育活動で男女平等の意識を高め、子ども達の具体的な変容が見られる。	A B C D -----	
⑤ 在日韓国・朝鮮籍の子ども達の民族的自覚の基礎を培い、違いを認め合い互いに高まろうとする姿が見られる。	A B C D -----	

11 健康教育について		改善点等
① 子ども達の生活習慣の確立に向けた取組が効果を上げている。	A B C D -----	

12 安全教育について		改善点等
① 安全ノートを活用して、子ども達が自分の命を守ることができる指導を行っている。	A B C D -----	

13 学校給食指導について		改善点等
① 目標と指導内容は給食重点目標を踏まえて設定され、子ども達が実践している。	A B C D -----	

14 授業参観・懇談会について		改善点等
① 授業参観や懇談会は、保護者や地域の要望などを踏まえながら実施している。	A B C D -----	

15 会議・職員朝礼について		改善点等
① 職朝で連絡等が効率よく行えた。	A B C D -----	
② 会議1週間前に決済を受け、提案等ができ、効率的な運営ができています。	A B C D -----	

16 PTA・地域行事への参加について		改善点等
① 子ども達が、PTA・地域行事への参加できるよう、意図的・計画的に働きかけている。	A B C D -----	

学校教育活動自己評価結果

A=できている B=どちらかといえばできている
C=どちらかといえばできていない D=できていない

1 学校教育目標、子ども像について						
①教職員として校務分掌の経営計画や指導計画に基づいて、組織的に教育目標の達成に向け、具体的な取組をしている。	A	B	C	D	無	他
	1	6	4	0	0	0
	9.1%	54.5%	36.4%	0%	0%	0%
	63.6%		36.4%		0%	
②教職員として今の立場で目指す子ども像の具現化のため、具体的に積極的な子どもや親への働きかけをしている。	A	B	C	D	無	他
	0	10	1	0	0	0
	0%	90.9%	9.1%	0%	0%	0%
	90.9%		9.1%		0%	
③明るく、元気に挨拶したり、素直に受け答えができる。(以下子ども像)	A	B	C	D	無	他
	0	5	5	1	0	0
	0%	45.5%	45.5%	9.1%	0%	0%
	45.5%		54.5%		0%	
④思いやり、優しさをもって、友達に接することができる。	A	B	C	D	無	他
	0	3	8	0	0	0
	0%	27.3%	72.7%	0%	0%	0%
	27.3%		72.7%		0%	
⑤自分から進んで学習し、課題を解決することができる。	A	B	C	D	無	他
	0	3	5	3	0	0
	0%	27.3%	45.5%	27.3%	0%	0%
	27.3%		72.7%		0%	
⑥ルールやマナーを守り、より楽しい学級や学校にすることができる。	A	B	C	D	無	他
	0	4	4	3	0	0
	0%	36.4%	36.4%	27.3%	0%	0%
	36.4%		63.6%		0%	
⑦整理・整頓をしっかりし、学級や学校を美しくすることができる。	A	B	C	D	無	他
	0	4	5	1	1	0
	0%	36.4%	45.5%	9.1%	9.1%	0%
	36.4%		54.5%		9.1%	
⑧基本的な表現方法を身に付け、自分らしさを生かした表現ができる。	A	B	C	D	無	他
	0	2	7	2	0	0
	0%	18.2%	63.6%	18.2%	0%	0%
	18.2%		81.8%		0%	
2 学級目標について						
①子どもの実態や課題に応じて、目標を具体化し、計画的に重点をかけた学級づくりを行っている。	A	B	C	D	無	他
	0	6	3	0	2	0
	0%	54.5%	27.3%	0%	18.2%	0%
	54.5%		27.3%		18.2%	
②目標実現に向けて連携・協力して取り組み、児童の平素の活動の中に、学級目標具現の様子がみられる。	A	B	C	D	無	他
	0	5	4	0	2	0
	0%	45.5%	36.4%	0%	18.2%	0%
	45.5%		36.4%		18.2%	

学校教育活動自己評価結果II

学校教育目標、子ども像について	改善点等
①教職員として校務分掌の経営計画や指導計画に基づいて、組織的に教育目標の達成に向け、具体的な取組をしている。	○先が読めずご迷惑をおかけしました。 ○それぞれの教員の個性や能力、得意分野を最大限に引き出す校内体制であるかを検討すべき。
②教職員として今の立場で目指す子ども像の具現化のため、具体的に積極的な子どもや親への働きかけをしている。	○働きかけのいる子に重点的に行っているが、本人・保護者とも伝わりにくい場合が多かった。 ○学習予定表・学級通信・朝の会の工夫等で対応しようとしています。
③明るく、元気に挨拶したり、素直に受け答えができる。(以下子ども像)	○定着したとは言えない。2学期も積極的に教職員から働きかける必要がある。 ○生き生きとした子ども達にしていく取組をする。 ○できている子と、できていない子(できない子)がいるので指導を続ける。 ○高学年の児童に意欲的に取り組ませたい。
④思いやり、優しさをもって、友達に接することができる。	○優しい言葉遣いが、自然にできるようになり返し指導する。 ○できている子どももいるが、まだ、自分のことだけを考えてしまう子どもが多いので、周りに目を向けるようにさせたい。 ○自分の気に入った友達にだけという姿が目立った。誰に対してもという点にかけている。 ○いく分穏やかになっている子は増えてきていると思うが。 ○クラスの中で、担任が目指している心の教育を子ども達に伝えていく。 ○自己中心的な子が目立つ。家庭への働きかけ協力を得る必要あり。 ○言葉遣いに注意を払えるようにさせたい。
⑤自分から進んで学習し、課題を解決することができる。	○家庭学習の習慣化を目指すことが大切と考える。 ○指示待ち、受け身の子が多いので学習の楽しさに気付かせたい。 ○学校をそして学級を子ども達にとって楽しいものにする。 ○見ている範囲でできていない。家庭への働きかけ協力を得る必要あり。 ○計画表を作れるようにしたい。
⑥ルールやマナーを守り、より楽しい学級や学校にすることができる。	○共通理解をして指導しきる。名札、ハンカチ、ハナカミ、廊下の歩き方等 ○モラル、規範意識の低下が気になる。規則を守らない方がかっこいいと思う風潮がある。 ○クラス内でも学校内でも子どもの自治活動を重視していく。

学習指導の充実をめざして

学校教育活動自己評価結果から考えて

学校評価を研究の視点から見ると

プラス面 (A・B)

- ① 5-4 「生活科, 社会科, 生活単元の学習が好き」 81.8%
- ② 5-2 「地域素材の教材化」 54.5%

マイナス面 (C・D)

- ① 1-8 「基本的な表現方法と自分らしさを生かした表現」 81.8%
- ② 4-5 「コンピュータ活用, 情報活用・処理の環境づくり・指導の工夫」 81.8%
- ③ 3-2 「1ユニットの弾力的な運用」 63.6%
- ④ 3-3 「基礎基本の定着と個性の伸長一指導と評価」 63.6%
- ⑤ 4-3 「地域素材の教材化, 地域人材の積極的活用, 学習の成果が上がっている」 63.6%
- ⑥ 4-4 「自己評価, 相互評価, ポートフォリオ評価」 63.6%
- ⑦ 6-1 「個に応じた指導の工夫, 基礎基本の徹底」 63.6%
- ⑧ 5-1 「主体的な問題解決学習を育成する授業の実践」 54.4%

以上の結果及び改善点等から考えて, 以下の事について見直していきたい。

*今年度の研究の教科については, 児童は好きと答えている。このことを大切にしていきたい。

(社会科嫌いが増えていないか? という見直しをしつつ, 導入の工夫を考えていく。)

*地域素材の教材化については今までの積み重ねを生かしつつ, 学習成果が上がるようにしていくことが大切である。

(活動内容, 活動場面の検討をしていく。)

*コンピュータ活用については, 環境整備をしていくことが大切である。

(使い方のマニュアル, 子どもの活用時間の保障を)

*総合的な学習については, 見直しをもって, 今までの本校の取り組みを生かした活用を行う。

(総合的な学習の年間計画の掲示やパネルの作成を通して, いつ頃・どのような活動をしていくのか見通しを, 教師も児童も持てることが大切ではないか)

*学習の進め方については, 基礎基本の定着を図る。

(教材研究をしっかり行うこと, 評価カードや作文等で自己評価・相互評価の活用, 補助簿の活用)

(チャレンジ・マスター・トライ学習の徹底・・・指導時間の確保と指導内容の徹底)

*表現力を付けるために, 朝の会, 各教科での取り組みを意識する。

(話形の基本パターンの指導, 児童の表現を促す教師の言葉かけ, 言語表現だけでなく多様な表現方法を取り入れる事など個に応じた指導を大切に)

学習指導の充実をめざして

社会科学習の進め方について

全小社研に向けて授業研究が進んでいる中, 先生, 先生, 先生のご指導が日々の授業の中で生かされているか, 日常の指導のあり方をふりかえり, 子ども一人一人に基礎・基本の力を付けていくための授業のあり方を問い直すきっかけにしたいと思います。そして, 子どもがみえている授業, 先生の授業の意図が分かる授業, 先生の魅力があふれている授業をめざしたいと思います。

今までの授業研究をもとに提案したいと思います。

また, さらによりよい学習の進め方がありましたら, 学習指導研究部までご連絡下さい。みんな考えていきたいと思ひます。ご協力をお願いします。

(社会科の授業だけでなくどの教科にもできることがたくさんあります。いろいろな場面で活用してチェックしていきたいと思ひます。)

社会科学習における基本的なチェック項目

好ましい状態にあると思われる時は○, 好ましくない状態にあると思われる時は×を付けてみてください。どこをどのように改めていけばよいか手がかりを得るための資料として活用してください。良い手立てがあれば全学年に広めていきたいと思ひますので, 学習指導研究部までご連絡下さい。 *学年に応じて内容の程度に配慮してください。

(9)月 ()年

	項 目	評価
資料を読みとる力	資料は子どもの見やすい提示になっている。(資料の大きさ・色など) 1枚の絵や資料からどれだけたくさんの事実を読みとれることができるか。朝の会や授業の中で子どもたちに経験させている。 少なくとも資料の提示をした場合は, そこから最低四つ以上のことが読みとれる力が付いている。 (表題・出典・縦軸・横軸・最高値と最低値の関係など) 事実を見たら処理できる力が付いている。 (つなげて, 関連づけて, まとめて, 仲間に分けて, 観点を設けて) 事実を根拠として自分の考えをもつことができる。 (納得している, 疑問をもっているなど)	
指導者側の評価の仕方	学習のスタートの時の子どもの実態が把握できている。 座席表を用意して, 授業中の子どもの大切な反応をチェックして, 子どもの変容をとらえようとしている。 授業中のキーワードは, 誰の?どんなこと?が明確になっている。 (「疑問」・・・私の疑問に思うこと) 目標に向けての指導が明確であり, 子どもの変容が見られる授業の組み立てを考えている。 本時の目標が子どもに身に付いているか, 授業の終わり方を工夫している。 (「今日の授業の感想を書きましょう。」ではなく, 「今日の学習のめあて・・・について今日わかったことを書きましょう。」など)	
場の設定	学習の足跡が残る掲示物がある。 掲示物の中には社会的事象を客観的に考えられる視座となる資料がある。 板書は子どもの発言を観点ごとにまとめて整理して書いている。 話し合いのしやすい机の配置になっているか。	
その他	学習の中で学習問題が明確になっている。 友だちの意見をつないで発表できる。 (～さんにつけてして, ～と違って)	

授業を進める上で, 何かお悩みのことや疑問に思うことなどがあればどうぞ・・・

お忙しいとは思ひますが, 9月30日までに ○○までだしてください。

きらめき学習について

総合的な学習担当

1学期の反省で、きらめき学習の取組が不十分だということがでていました。総合的な学習は今年度が完全実施の初年度であり、昨年度以上にその取り組みが問われる年度です。総合的な学習は105時間、110時間という他の教科学習に比べても時間数が多い学習ですので、学習成果が表れるようによろしくお願いします。

きらめき学習の取組を以下の項目でチェックしてください。

○きらめき学習が年度当初に立てた活動計画をもとに進められているか。

○予定の実施時期に始まり、終わっているか。

○評価規準をもとに評価ができていますか。

→評価計画と個人内評価の記録との整合性を見直してください。

○次のようなポートフォリオができていますか。

・子どもの学習の足跡がわかるものか。

・学習したことに教師の評価が加えられているか。(朱筆など)

・自己評価や相互評価ができていますか。

自己評価一ふり返りカード、子どもの感想を書いたプリント、作文など

相互評価一ポストイットなど

→できていない場合はこれからでも作成してください。子どもがどのような活動をしたのか、それに対してどのような評価、指導をしてきたのかを具体的な事実で説明できなければなりません。(保護者、地域、教育委員会に対して)

●11月8日に次のものを提出してください。

・ポートフォリオ(子どもの学習ファイル、子どもの作品)

・評価の記録表(評価観点および項目に沿ったもの)

●今学期末に次のものを提出してください。

・活動計画の訂正版(実施時期、学習活動、留意点、評価規準など変更があった単元のみ)

・きらめき学習の立体パネル構想図(職員室の見本をもとに、今年度のものを昨年度の担任と相談してどのようなものにするか決めてください。)

●冬休み中に立体パネルを仕上げてください。(今年度の担任と昨年度の担任で協力して仕上げてください。)

●今年度末に1単元の実践記録を提出してください。(報告のため。形式は後日します。)

※忙しい中ですが、よろしくお願いします。

学校教育活動自己評価結果に対する対策

項目番号	評価項目	結果(A+B)	対 策
10-1	人権学習は、年間計画に基づき、学習を進めている。	90.9%	日常生活において絶えず人権を意識させる中で人権月間に向けての取組を進める。
10-2	トライ・マスター等は、福祉地区の子どもをはじめすべての子どもの学力保障に役立っている。	81.8%	基礎・基本の定着と自学自習の習慣付けを進めるために計画表を有効に利用したり時間の設定を工夫したりする。
10-3	養護育成教育が充実し、交流教育等で国の発達段階に応じ、育成学校、普通学校のそれぞれで取り組んでいる。	54.6%	「なかまの日」での取組をきっかけに意識できるような取組を考える。
10-4	すべての学校教育活動で男女平等の意識を高め、子ども達の具体的な変更が見られる。	45.5%	
10-5	在日韓国・朝鮮籍の子ども達の民族的自覚の基礎を培い、違いを認め合い互いに高まろうとする姿が見られる。	72.8%	
3-3	基礎・基本の定着と個性の伸長を図る指導と評価を行っている。	18.2%	チャレンジ大会や進捗状況の点検など明確な目標を設定し、意欲的に取り組めるようにするとともに、計算領域以外の問題を算数主任と協力して作成する。
11-1	子ども達の生活習慣の確立に向けた取組が効果を上げている。	45.5%	同専の登校時の声かけを強化すると共に気にかかる子の登校指導・声かけを担当も行う。
1-3	明るく、元気に挨拶したり、素直に受け答えができる。	45.5%	
9-3	児童理解に努め、そのための家庭訪問ができている。	81.8%	視点を決めた家庭訪問を行う中で児童理解や保護者との連携を強める。また、記録を残していく。
6-1	各教科とも子ども達の主体的な学習を確立するための教師の支援のあり方について共通理解し、個に応じた指導の工夫と、基礎・基本の徹底を図っている。	36.4%	同専が計画的に学習に入り、福祉地区児童を中心に個別対応を強化する。
8-1	道徳の授業時数が確保され、道徳学習に関する子ども達の意識が高まっている。	36.3%	ジョイント道徳などの取組を行うと共に、「心のノート」の有効な利用を図る。

保護者様

平成14年12月2日

京都市立山王小学校

校長 松谷 龍雄

授業参観アンケート記入のお願い

紅葉の季節も終わり、いよいよ2学期も残りわずかになってきました。

本校では、一昨年度から授業参観日及び参観週間に保護者・地域の方々に授業参観のアンケートをお願いしております。そして、保護者や地域の方々のご意見を学校教育活動に反映させるべく取組を推進しています。

学校だよりの8月号でお知らせいたしましたように、皆様方からは、次の点について課題があるとご指摘いただきました。

- ・「正しい言葉づかいで、自分から進んで発言していた」
- ・「しせい正しく学習していた」
- ・「学習内容がわかり、基礎的な学力が身に付いてきている」

学校では、これらのご指摘を受けて、子ども達の指導に当たってきました。しかし、まだまだ不十分な点もあるかと思っています。

そこで、できるだけ多くの保護者や地域の方々のご意見をいただき、さらに学校教育活動の充実を図っていきたくと考えています。そのために、今回は事前にアンケート用紙を配布させて頂きました。当日学校でも同様の用紙を用意いたしますが、事前に目を通して頂き、12月3日(火)に参観していただいでアンケートにご協力いただければ幸いです。

授業参観アンケートについて

マラソン大会も終わり3学期もいよいよあと一月余りを残すばかりになりました。

本校では、授業参観日及び参観週間に保護者・地域の方々に授業参観のアンケートをお願いしております。そして、保護者や地域の方々のご意見を学校教育活動に反映させるべく取組を推進しています。

1時間だけをご覧いただいたアンケートは記入しにくい点もございますでしょうが、お気付きになる点だけでも結構ですのでご協力いただきますようお願いいたします。

学校だよりの1月号でお知らせいたしましたように、前回は皆様方からのご指摘をもとに、

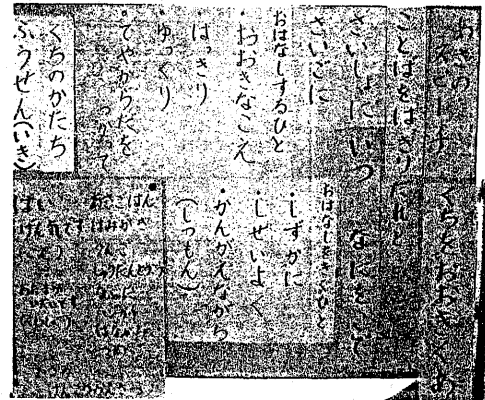
- ・「正しい言葉づかいで、自分から進んで発言していた」
- ・「しせい正しく学習していた」
- ・「発表の声が小さい」

ということの改善に向けた取組を、各クラスで進めています。

学級だよりでお知らせしましたように、各クラスでは朝の時間に詩の音読をしたり、発表の仕方を指導したりしています。また、子どもに届く授業の改善も図っています。

これらの成果はすぐには目に見えてこないかもしれません。しかし、取組を積み上げることによって、必ず成果が出ることを思います。3学期は1月の参観週間のアンケートをとるのを中止し、1ヶ月様子を見ることとしました。

子ども達に、確かな学力と生きる力(ルールやマナーを含む)をつけるために、より学校教育の充実を図り、家庭・地域との連携を推進するためにも皆様方の多くの意見をお寄せいただきますようお願いいたします。



< 1年生の取組 >

授業参観等のアンケート () 年

※当てはまるところに○印をおつけください

A=できている B=どちらかといえばできている
C=どちらかといえばできていない D=できていない

※評価しにくいことやできないとお考えの項目については、ご記入なさなくても結構です。

今日の授業		評価
1	いきいきと学習していた。	A B C D
2	学習内容が分かっていた。	A B C D
3	正しい言葉づかいで、自分から進んで発言していた。	A B C D
4	きちんと先生や友達の話の話を聞いていた。	A B C D
5	ていねいにノートをとっていた。	A B C D
6	忘れ物をせず、持ち物がそろっていた。	A B C D
7	しせい正しく、学習していた。	A B C D
8	担任は、子供の心をとらえた授業をしていた。	A B C D

【今日の授業の感想】

日頃の学校		評価
9	楽しそうに学校へ行っている。	A B C D
10	友達と仲良く学校生活を送っている。	A B C D
11	学習内容が分かり、基礎的な学力が身に付いてきている。	A B C D
12	地域・保護者の方々の協力を生かした授業をしている。	A B C D
13	子供一人一人が大切にされ、認められる学校である。	A B C D
14	日頃から担任は子供のことをよく考えて、指導してくれている。	A B C D
15	学校は教育方針や課題を分かりやすく伝えている。	A B C D
16	日頃の学校での子供の様子がよく分かる。	A B C D

《本校の教育について、ご意見・ご要望などがありましたらお書きください。》

家庭での様子		評価
17	学校から配られるプリントなどは必ず見るようにしている。	A B C D
18	地域やPTAの行事に積極的に参加している。	A B C D
19	子どもの友達の名前はよく知っている。	A B C D
20	子どもとのふれあいや対話を持つように努力している。	A B C D

授業参観などのアンケートがあつてよかった はい いいえ

ご協力ありがとうございました。 京都市立山王小学校

学校だより 8月号 山王小学校

さんのう



「花壇とフェンスの間に咲いた鹿ヶ谷カボチャの花」
「ワー、大きな黄色い花。」と、思わず驚きの声をあげた1年生の子ども達。7月の初旬に、学校の花壇とフェンスの間に、黄色い大きな花を一齐に咲かせたのは、『鹿ヶ谷カボチャ』です。
鹿ヶ谷カボチャは、左京区の鹿ヶ谷地区で江戸時代から作られている京の伝統野菜です。このカボチャを食べると中風にかからないと言われ、鹿ヶ谷にある安楽寺では、毎年7月25日に、参拝者にふるまわれるそうです。

第1回山王スポーツデー



体育館ではソフトバレーミニバスケットキックベースボール
7月6日(土)に、山王少年補導委員会とPTAの共催で、「第1回山王スポーツデー」が開催されました。
当日は、少年補導委員会の方々や学生班、そしてPTA保健体育部の皆様方をはじめ多くのPTAの方々に協力いただき、子ども達にとって、有意義な半日を過ごすことができました。
天候が心配されましたが、学生班や子ども達の願いがかない、雨雲も吹き飛ばしてしまいました。

「楽しいって?」「うれしいって?」
さて、いよいよ夏休み。今年の夏休みは43日間あります。9月2日の始業式には楽しかった思い出を胸に、元気に登校してくれることでしょう。
子ども達にとって夏休みは楽しいことがいっぱいあります。「OOに泳ぎに行くよ。」「遊園地に遊びに行くよ。」等々夏休みならではの言葉がたくさん出てきます。ここで子ども達がイメージしている楽しさはどちらかというと、遊んで楽しい。または、楽しいひとときが過ごせるといったものです。もちろん楽しさを否定するものではありませんが、43日間「ああ楽しかった。」だけでは夏休みがもったいないような気がしています。是非「楽しさ」と同時に「うれしさ」も感じ取ってほしいと願っています。
では、どのようなときに「うれしい」と感じるのでしょうか。「楽しい」という感覚はある意味瞬間的にやってきます。しかし「うれしい」という感覚はじわじわやってくるのかも知れません。
山登りをたとえにしますと、汗をかき苦労をして山の頂上にたどりついたとき、吹き抜ける風に当たって、頂上から周りを眺めたときの気持は、「楽しさ」ではなく「うれしさ」であると思います。登っているときは、それこそしんどくて楽しいものではないでしょう。しかし、登り切った時の素晴らしい経験をすると、一時的な楽しさにはかえりがたきものがあるのです。それは、スポーツでも学習でも言えることではないでしょうか。今までできなかったことができてうれしい。今まで分らなかったことが分かってうれしい。苦勞や努力の後に得られる喜びといううれしさを味わえるような夏休みになればいいですね。
授業参観アンケートありがとうございました。
本校では、昨年度も授業参観や参観週間、アンケートをとらせて頂きました。本年度も6月16日の日曜参観でアンケートを実施しました。その結果から、いくつかの点について特徴的なことがありましたのでお知らせし、一緒に考えてみたいと思います。
まず、アンケートは①今日の授業、②日頃の学校、③家庭での様子について合計20項目を設定し、A=できている、B=どちらかといえばできている、C=どちらかといえばできていない、D=できていないの4段階で評価して頂きました。その結果①については約75%の方が、②については約81%の方が③については約74%の方がAもしくはBと判断して頂きました。
しかし、『正しい言葉遣い』『姿勢正しく学習していた』『基礎的な学力が身に付いている』という3点については評価が63%と低かったです。言葉遣いについては、指名されたときにきちんと最後まで答えられるような指導を続けていきたいと考えています。
姿勢については視力が1.0以下の子どもが40.4%と視力とも関連しているようです。全市の平均と比べるとかなり多い状況にあります。学校でも注意していきたいと思いますが家庭でも姿勢について声掛けをして頂きますようお願いいたします。
基礎的な学習については、裏面にも書かせて頂きましたが様々な方法で取り組んでいきます。今後どのように変わったか見守って下さいますようお願いいたします。

子ども達はさすがに汗をいっぱいかきながらスポーツを、思いっきり楽しみました。
学生班のメンバーは、小学生の力に合わせて、とても上手に遊んでくれました。この様な取組を継続していくことによって、地域ぐるみで、青少年や児童・生徒の健全な育成が推進できればと願っています。
なお、8月に行われます「山王夏まつり」でも、学生班が活躍してくれる予定です。
山王夏まつり
★8月28日午後6:00～8:30に開催いたします。詳しくは、別添回収及びポスターをご覧ください。

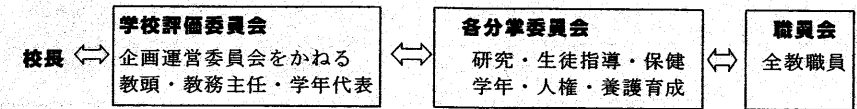
回覧

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

平成14年度学校評価年間計画

京都市立下鴨小学校

1 校内組織



2 年間計画

1 学期

- 4月 下旬 学校評価委員会の設置とそのねらい等の共通理解
- 6月 下旬 学校評価委員会で学校評価システム構築のステップを検討
第1回自己評価の実施に向けての具体的な計画作成
- 7月 上旬 自己評価の評価項目原案作成(教頭・教務主任・校長), 学校評価委員会で自己評価項目の検討後職員会で学校自己評価の評価項目等検討
中旬 全教職員による第1回自己評価の実施
- 8月 下旬 教育委員会地域教育専門主事の講義等による学校評価研修会の実施
第1回自己評価の, 結果の考察と教育活動の見直し

2 学期

- 10月 中旬 学校評価委員会による外部評価実施の具体案検討, 自己評価項目及び評価基準についての検討。外部評価(全保護者対象)の評価項目作成
- 11月 上旬 職員会にて, 第2回自己評価と第1回外部評価の評価項目及び評価基準の検討・決定
- 12月 上旬 第2回自己評価及び第1回外部評価(全保護者対象)の実施と集計及び考察, 学校教育活動へ生かす取組

3 学期

- 1月 上旬 2学期実施の学校評価結果及取組改善についての公表(全保護者へ)
3学期学校評価の実施計画作成
- 2月 下旬 第3回自己評価及び第2回外部評価の実施
- 3月 上旬 学校評価の集計と考察及び公表, 教育活動の点検と改善
学校評議員会の開催と学校評価結果や考察についての説明
中旬 次年度の学校評価システムの検討及び年間計画作成

番号	評価項目	評定	評価感想	
			内容	難易度
1 学校教育目標の設定と実現				
1	学校教育目標や目指す子ども像は、子どもや地域の実態・社会の流れに即したものである。			
2	学年・学級目標は学校教育目標や目指す子ども像の実現に向けた課題を具体化したものとなっている。			
3	重点目標の「人に優しく、地球に優しい心を育てる環境教育」について共通理解ができている。			
2 教科・道徳の指導				
4	教科学習における基礎基本の内容について共通理解ができている。			
5	一人ひとりの子どものもつ個性や可能性を伸ばす学習が展開されている。			
6	特別な配慮を要する子どもについて焦点化して取り組んでいる。			
7	学習内容が十分定着していない子について、家庭との連携を密にした取組ができている。			
8	道徳の年間指導計画に基づき、資料の精選や展開を工夫した「道徳の授業」が行われている。			
9	一人ひとりの子どもに、課題を発見し追求していく力が身に付いてきている。			
10	子どもたちが自ら進んで意欲的に学習し、充実感を味わっている。			
11	子どもたちに、道徳的心情や判断力等が育ち、道徳の実践力が身に付いてきている。			
3 総合的な学習の時間				
12	子どもの興味・関心・ねがいを生かし、体験活動を重視した学習活動ができている。			
13	一人ひとりの子どもが課題を持ち、意欲的に問題解決を図る学習となっている。			
4 特別活動				
14	学校行事は適切であり、子供たちは体験的な活動を楽しみ、すすんで取り組んでいる。			
15	児童会活動は、ねらいにあった内容で活発に行われている。			
16	クラブ活動で、子どもたちは意欲的な活動を楽しんでいる。			
5 生徒指導・学級経営				
17	子ども一人ひとりをしっかり理解し、個に応じた指導ができている。			
18	問題行動の背景を十分把握し、家庭との連携をはかった取組ができている。			
19	いじめや仲間はずれのない学級作りを重点にした取組ができている。			
20	児童の問題行動や保護者の悩みの解決に向けて、教育相談体制や協力体制ができている。			
21	子どもたちは、学校や学級を楽しんでいる。			
6 環境教育				
22	すべての教育活動の場で環境教育を進める取組ができている。			
23	「総合的な学習」の重点に環境問題を取り上げている。			
24	環境教育の進め方について共通理解を得るための研修ができている。			

番号	評価項目	評定	内容	難易度
25	人権尊重を基本においた教育活動や学級経営ができている。			
26	育成学級との交流や本来校交流ができている。			
27	人権問題についての研修が充実し教職員の理解が深まっている。			
28	子どもたちに人権を尊重する精神が育ってきている。			
8 健康教育				
29	安全や衛生に気をつけて学校給食を実施している。			
30	学年の発達段階に応じた「食」に関する指導ができている。			
31	健康がすべての基礎になるという意識を培う健康教育ができている。			
9 開かれた学校				
32	家庭・地域に開かれた学校への取組が進んできている。			
33	地域の人材や地域教材を活用した授業や活動を取り入れている。			
10 経理・施設・その他				
34	事前稟議等適正な予算執行ができている。			
35	各教科の指導計画に基づいて、教材・教具を有効・適切に整備・管理・活用している。			
36	環境教育を進めるための施設や備品が整っている。			
(1学期を振り返り、特に気づいたことがあれば記入する)				
その他気づいた点				
評価基準	A…評価内容により「十分達成できていると思われる」や「強くそう思う」と考える場合(以下同じ)			
	B…「だいたい達成できていると思われる」や「おおむねそう思う」と考える場合			
評価感想	C…「やや不十分と思われる」や「少し否定的と思われる」と考える場合			
	D…「不十分であり努力を要すると思われる」や「そうは思わない」と考える場合			
内容…評価をするのに適当なものは◎、まず妥当と思われるものは○、必要がないかやや不適當と思われるものは×をつける。×をつけたものには理由を簡単に「その他気づいた点」の欄に記入する。				
難易度…評定しやすいものは◎、おおむね評定しやすいものは○、やや評定しにくいものは△、評定しにくいものは×を記入する。				

5 環境教育(全教員)					
15	教育活動の重点に環境教育をおいた取組ができていますか。	全ての教育活動を環境教育の視点で捉え十分な指導ができています	教育活動全体で取り組んでいるがやや不十分である	教科や総合的な学習を中心に環境教育を進めている	総合的な学習などでも環境問題が十分とはいえない
16	環境教育の進め方についての研修が深まっているか。	授業研究会等を通して十分深まったので進め方についての研修は今後不要だ	進め方についてほぼ理解ができたが、より深める研修が必要	進め方の理解がやや不十分なので研修する必要がある	進め方が理解できていないので基本的な研修が必要
6 人権教育(全教職員)					
17	児童の人権を尊重した教育活動や学級経営ができていますか。	人権に配慮した此り方やほめ方ができている	此り方やほめ方に配慮はしているが厳しすぎるところがある	しかり方やほめ方などの配慮が十分とはいえない	児童の人権を無視した此り方などがある
18	人権問題についての研修が充実しているか。	人権研修は十分行われている	十分とは言えないが時間的に見て妥当だ	人権研修がやや不十分である	人権研修が質量共に不十分である
19	子どもたちに人権を尊重する心が育ってきていますか。	ほとんどの児童に十分育っている	おおむね育っている	一部の児童にしか育っていない	ほとんど育っていない
7 健康教育(全教員、栄養職員…20、全教員…21)					
20	給食指導や「食」に関する指導の時間が確保され、児童の理解が進んでいるか。	時間も確保され内容も充実している	内容は充実しているが時間確保がやや問題だ	時間数などで指導計画に沿った指導ができていない	指導がほとんどできていない
21	保健安全についての指導が計画的に実施ができていますか。	時間も確保され内容も充実している	内容は充実しているが時間確保がやや問題だ	時間数などで指導計画に沿った指導ができていない	指導がほとんどできていない
8 開かれた学校(全教員、栄養職員…22、全教員…23)					
22	学校情報の発信ができていますか。	学校便りや学年・学級・保健・給食だより等で十分発信している	発信できているが内容的に不十分な面がある	全体に不十分な発信である	ほとんど発信できていない
23	地域の人材や地域教材を活用した授業や活動を取り入れていますか。	教科や総合などで大いに活用している	活用できているが学年に片寄りがある	活用が不十分だ	ほとんど活用していない
9 経 理 ・ 施 設 ・ そ の 他(全教員・事務職員・栄養職員…24、全教員…25・26)					
24	事前稟議等適正な予算執行ができていますか。	きっちりとできています	ほぼできています	一部はできています	ほとんどできていない
25	各教科等の指導に必要な、教材・教具が整っていますか。	十分そろっていて指導しやすい	ほぼそろっているが一部足りない	全体に不十分である	ほとんどそろっていない
26	環境教育を進めるための施設や備品が整っていますか。	十分そろっていて指導しやすい	ほぼそろっているが一部足りない	全体に不十分である	ほとんどそろっていない
その他	(2学期を振り返り、特に気づいたこと)(全教職員)				

番号	評価項目	評価基準				評価
		A	B	C	D	
1 学校教育目標の設定と実現(全教員・栄養職員)						
1	日々の教育活動は、学校教育目標や目指す子ども像の実現を目指して取り組まれているか。	常に目標等を考慮して取り組んでいる	計画時に目標を生かすようになっている	十分考えられていない	ほとんど考慮されていない	
2	目指す子ども像になかった子どもが育ってきていますか。(がんばろうと励まし合う、なぜかなと考える、集中して取り組む、心と体を鍛える)	ほとんどの児童に十分に育ってきている	少しずつではあるが育ってきている	一部の児童にしか育っていない	ほとんど育っていない	
2 教科・総合的な学習・道徳等の指導(担任・TT…3・4・5・8、担任…6・7)						
3	教科学習における基礎基本が子どもたちに定着しているか。	ほとんどの児童に十分に定着している	だいたい定着できている	一部の児童にしか定着していない	ほとんどの児童に定着していない	
4	一人ひとりの子どものもつ個性や可能性を伸ばす学習が展開されているか。	それぞれの児童にあった工夫をしている	時間の許す範囲で努力している	選れた児童の対応でいっぱいである	指導内容を押さえるのに追われている	
5	特別な配慮を要する子どもについて焦点化をして取り組んでいるか。	常に配慮をしその子にあった課題を与えるなどの取組をしている	できるだけ配慮し声かけや個別指導などを行っている	時間的なことなどから十分な取組ができていない	ほとんど取り組めていない	
6	学習内容が十分定着していない子について、家庭との連携を密にした取組ができていますか。	常に連絡を取って協力してもらっている	時々連絡を取り課題等を与えている	学校で対応し連絡はあまりしない	ほとんど連絡は取らない	
7	子どもの関心・意欲を高め、一人一人が課題を追求し体験活動を重視した総合的な学習を進めているか。	そうしたねらいに添った学習が十分できている	だいたいねらいに添った学習ができています	一人一人の課題追求などが十分ではない	今までの教科学習とほとんど変わらない	
8	一人ひとりの子どもに、課題を発見し追求していく力が身に付いてきていますか。	全体に大きく育ってきている	だいたい育ってきている	一部の児童にしか育っていない	余り変化は見られない	
3 特別活動・学校行事(全教職員…9、全教員・栄養職員…10、11)						
9	2学期の学校行事は、内容や時間等適切であり、子供たちは意欲的に取り組んでいたか。	それぞれの行事が適切であり活発に取り組んでいた	おおむね適切であり児童の活動も活発であった	一部再考を要するものもあった	全体に再考を要する	
10	児童会活動は、ねらいにあった内容で活発に行われているか。	当番活動をすすんで意欲的に、自主的な活動も活発である	当番活動などおおむね活発に行われている	活発な活動もあるが当番活動に終わるところもあった	全体に意欲や自主性が低い	
11	クラブ活動で、子どもたちは意欲的な活動を楽しんでいるか。	ほとんどの児童が意欲的に取り組んでいる	おおむね意欲的であるが一部消極的な児童もいる	一部意欲的だが多くの児童が消極的である	ほとんどの児童に意欲が見られない	
4 生徒指導・学級経営(担任)						
12	子ども一人ひとりをしっかり理解し、個に応じた指導ができていますか。	学級の全ての児童の理解に努め個に応じた指導をしている	気にかかる児童を中心に一人一人の児童の理解を深め指導している	気にかかる児童の指導に追われ全体への対応ができていない	クラスをまとめるのに追われ個々の児童への対応ができていない	
13	問題行動の背景を十分把握し、家庭との連携をはかった取組ができていますか。	できるだけ家庭との連携を図り保護者の協力を得ている	問題行動があればすぐに知らせ家庭と連携をして解決を図っている	保護者からの申し入れを受けて家庭との連携を図っている	学校で対応し、家庭へは報告や指導が中心である	
14	いじめや仲間はずれのない楽しい学級作りができていますか。	いじめや仲間はずれが全くみられず楽しい学級作りができています	小さないざこざはあるがいじめや仲間はずれは見られない	仲間はずれやいじめに発展する可能性があるが指導している	いじめや仲間はずれが見られ指導しているが改善しない	

平成14年12月13日

保護者様

京都市立下鴨小学校
校長 依岡 弘祐

アンケートにご協力をお願い

今年も余すところ二週間余りとなりました。年末を控え、何かと気ぜわしいこの頃ですが、保護者の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

さて、本校では、平素より「開かれた学校づくりの取組」推進のために、学校からの情報発信に努めるとともに、保護者や地域の皆様の願いや期待の把握に努めております。これまで、休日参観や学習発表会の際にアンケートにご協力いただきましたが、このたび、別紙の内容につきまして、保護者の皆様のご意見やご感想を聞かせていただきたいと思います。

保護者の皆様のご意見やご感想は、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしつつ連携・協力し、地域ぐるみの教育をさらに充実させるために生かしたいと考えておりますので、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

つきましては、別紙のアンケート用紙にご記入の上、のりしろ部分をのり付けして、12月19日（木）までに担任までご提出いただきますようお願いいたします。

のりしろ

平成14年度下鴨小学校

学校教育アンケート

番号	観 点	選 定 基 準				回答
		A	B	C	D	
1 学 校 教 育 目 標 ・ 環 境 教 育						
1	学校教育目標（生きる力を育み生き生きと輝く子ども）や目指す子ども像（がんばろうと励まし合う、なぜかなと考える、集中して取り組む、心と体を鍛える）は適切か。	21世紀の教育にふさわしく、子どもたちにとって大切な内容だ	おおむね時代に合った内容であり、妥当なところだと思ふ	内容は妥当だが、やや抽象的なものであろうし具体的な目標がよい	内容が現在の課題からはずれており再検討をすべきだ	
2	本年度の重点に環境教育を取り上げたのは適切か。	重要な問題であり、重点に取り上げたことは大変良い	重点はよいが、他の取組にも力を入れる必要がある	環境問題よりもっと大事な課題がある	環境問題は取り上げる必要はない	
2 教 科 ・ 総 合 的 な 学 習						
3	一人ひとりの子どものもつ個性や可能性を伸ばす学習が展開されているか。	子どもの能力や実態に即して、それぞれの児童にあった取組がされている	おおむね子どもの実態に即して取り組んでいると思う	一部の子どもへの配慮はあるが、全体には不足なところがある	一人一人の子どもに合った取組がほとんどできていない	
4	学習内容やその定着について、学校は家庭と連携した取組をしているか。	学校からよく連絡してくれ、家庭からの相談も適切に対応してくれている	必要に応じて連絡があり、学校からの相談にも応じてくれる	学校からの連絡はあまりないし、学校へ相談することもない	学習の状況などの連絡はほとんどないし、相談もない	
5	一人一人の子どもが課題を追求する総合的な学習の時間が行われ、子どもにその力が育っているか。	子どもは意欲的に取り組む、課題解決の力が大きく育っていると思う	子どもは楽しんで学習し、課題解決の力が少しずつ育ってきていると思う	楽しく取り組んでいるようだが、学力が十分育っているとは思わない	子どもの自由に行せ、学習になっていないのではいか心配である	
3 特 別 活 動 ・ 学 校 行 事						
6	2学期の学校行事は、内容や時間等適切であり、子供たちは意欲的に取り組んでいたか。	それぞれの行事が適切であり、子供たちは意欲的に活動に取り組んでいた	内容や時間など、おおむね適切であり、児童の活動も活発であった	今年度から変わった点など、一部再考を要するものがあつた	内容や時間、期日など全体に再考を要するものが多い	
7	原活動や委員会活動・クラブ活動などで、子どもたちは意欲的に活動し楽しんでいるか。	大変意欲的で、大いに楽しんでいると思う	おおむね意欲的で、楽しく活動していると思う	楽しさを感じられず、満足感を感じられない	全く意欲がなく、いやに感じていると思う	
4 生 徒 指 導						
8	子ども一人ひとりをしっかり理解し、個に応じた指導ができていますか。	常に子どもの理解に努め、個に応じた指導がされている	子どもの話をよく聞き、対応してくれている	全体への配慮が不十分だと思ふ	一人一人の子どもへの配慮や指導がほとんどできていないと思う	
9	家庭との連携をはかった取組ができていますか。	家庭訪問等、家庭との連携が十分で、子どものことを考えた指導がされている	問題によっては家庭と連携し、相談しながら指導してくれている	どちらかといえば保護者から働きかけて連携を図っている	学校のみで対応し、家庭へは報告や指導が中心である	
10	児童の人権を尊重した教育活動や学級経営ができていますか。	一人一人を大事にし、人権に配慮した指導ができています	指導の仕方には配慮はしているが、厳しすぎると思うところがある	一人一人が十分尊重され、配慮が不十分な指導もある	児童の人権を無視した指導があり躊躇だと思つている	
11	いじめや仲間はずれのない学級作りを重点にした取組ができていますか。	いじめや 仲間はずれが全くみられず楽しいクラスや学級作りができています	おおむね、いじめや仲間はずれのない学級や学級作りができています	仲間はずれやいじめに発展する可能性があり、指導も十分とは言えない	いじめや仲間はずれが見られ、それについての対応が不十分である	
5 人 権 教 育						
2	子どもたちに人権を尊重する心が育ってきていますか。	十分に育ってきていると思う	おおむね育ってきていると思う	あまり育ってきていないと思う	ほとんど育ってきていないと思う	
6 開 か れ た 学 校						
3	学校情報の発信ができていますか。	学校便りや学年・学級便り、懇談会等で学校の様子がよくわかる	学校便りや学年・学級便り、懇談会等で学校の様子がたいがいわかる	学校の様子は一部のことになり、全体的にはあまりわからない	学校の様子はほとんどわからない	
4	開かれた学校作りができていますか。	地域の方との交流も活発で、学校へ気軽に行けるなど、学校は十分開かれていると思う	地域の方との交流も見られ、学校は開かれている方だと思ふ	どちらかといえば開かれていないのではいかと思ふ	全く開かれていないと思ふ	
(その他、ご意見等ありましたらご記入ください。)						
その他						

観点に対する選定基準の中から一番合っていると思う記号を回答欄にお書きください。

ご協力ありがとうございました。お差し支えなければ、お名前とお子たちの学年・組をお書きください。()年()組()

のりしろ

(紙を二つ折りにして、上の「のりしろ」と合わせてください。)

学校教育アンケート結果のお知らせ

2学期末お忙しい中、アンケートにお答えいただきありがとうございました。遅くなりましたが結果をお知らせいたします。ご家庭との連携についてや、子ども一人一人をしっかりと見守つていただくことが重要な課題として取り組んでおられますが、まだまだ不十分な点の多いことを受け止め、今後の教育を進めて参ります。
 その他の中で、学校行事の精選についてや、学校週5日制のこと、環境教育などについて多くのご意見をお寄せいただきました。これからの下鴨小学校教育に生かしてまいります。今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

番号	観 点	計				合計
		A	B	C	D	
1	1. 学校教育目標・環境教育 学校教育目標(生きる力)を達成する上で、 心・体・知・徳の育成(がまんする力、 しなやかさ、忍耐力)を重視して取り組 む、心と体を鍛える)は適切か。	63	85	37	1	186
2	2. 本年度の重点に環境教育を取り上げたの は適切か。	106	77	3	0	186
3	3. 総合的な学習 一人ひとりの子どもの個性や可能性を伸 ばす学習が展開されているか。	14	108	47	10	179
4	4. 学習内容やその展開について、学校は家 庭と連携した取組をしているか。	20	94	60	10	184
5	5. 一人一人の子どもが課題を追求する総合 的な学習の時間が行われ、子どもにその 力が発揮されているか。	13	97	62	4	176
6	6. 特別活動・学校行事 2学期の学校行事は、内容や時間等適切 であり、子供たちは意欲的に取り組んで いたか。	36	103	40	5	184
7	7. 読書活動や委員会活動・クラブ活動など で、子どもたちは意欲的な活動を楽し んでいるか。	33	128	12	1	174
8	8. 子どもひとりひとりに理解し、個 々に合わせた指導ができていますか。	31	108	33	6	178
9	9. 家庭との連携をはかった取組ができてい るか。	26	118	18	16	178
10	10. 児童の人格を尊重した教育活動や学校経 営ができていますか。	97	51	20	0	168
11	11. いじめや仲間はずれのない学習作りを重 視した取組ができていますか。	46	109	20	1	176
12	12. 子どもたちに人権を尊重する心が育つて きていますか。	23	129	27	1	180
13	13. 学校情報の発信ができていますか。	49	111	24	2	186
14	14. 開かれた学校作りができていますか。	40	124	17	0	181

学校だより 2月号 平成15年2月3日発行
 京都市立下鴨小学校
 電話 075-781-0382 FAX 075-781-8976
 メール: shimogamo@edu.city.kyoto.jp
 hp: http://www.edu.city.kyoto.in/hp/shimogamo/s/

参観・懇談会のご出席 ありがとうございます
 高学年は24日、低学年は28日と、どちらも大変寒い日となりましたが、多数のご出席をいただき、ありがとうございます。懇談会では、学級や子どもたちの様子、人権について等活発な話し合いができました。今後の指導に生かしていきたいと思っております。

自由参観日 2月14日(金)
 この日は、終日授業を公開しています。また、休み時間や給食時間の様子も参観していただく予定しております。
 ご都合のつかれる時間にご参観ください。なお、5・6校時は下鴨祭を参観していただきます。
 詳しくは、追ってお知らせしますのでご予定ください。

持久走大会 2月21日(金)
 先日、「持久走大会についてお知らせとお願ひ」のプリントを持ち帰ってまいりましたが、きょうから持久走大会に向けての朝の活動「5分間走」が始まりました。めあてを決めて、持久走大会に向けて頑張っています。



主な2月行事

日	曜	行事内容
1	土	
2	日	
3	月	持久走大会(大会まで、7日を除く)
4	火	給食 口蓋開閉日 放送部「トイ」
5	水	文芸活動発表会(低小) 放送部「トイ」
6	木	
7	金	ｽｽｰ教壇5・6時
8	土	人づくりフォーラム
9	日	
10	月	
11	火	建国記念日 大文字駅伝大会
12	水	クラブ活動 (PTA連絡3:00) 放送部「トイ」
13	木	
14	金	学校安全日、口蓋開閉日、自由参観日(低日、午後下鴨祭)
15	土	

16	日	
17	月	
18	火	半日入学 放送部「トイ」
19	水	委員会活動 放送部「トイ」
20	木	ｽｽｰ教壇7時限 現金給付日
21	金	持久走大会 放送部「トイ」
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	持久走大会予備日 人権学習(5校時 全学年) 放送部「トイ」
26	水	クラブ活動 (3年生見学) 放送部「トイ」
27	木	にこにこタイム 音楽クラブ・新大衆クラブ 発表
28	金	

図工展 — 華麗で 夢あふれる空間 —
 1月24日(金)から29日(水)まで図工展を開催しておりました。参観日と重ねていましたので多くの方にご覧いただけたかと思います。

アイディアと工夫を凝らした個性豊かな作品がそろいました。多目的室は、夢あふれる空間となりました。

勢よく走ったらあがったよ
 2年生風あげ大会

2年生は、グニャグニャ風を作って、そこに好きな絵を描きました。1月18日に賀茂川に行って、風をもって一生懸命走りました。
 残念ながら風が弱く、あまり高く上がりませんでした。が、子どもたちはとっても喜んでいました。

「いろんな生き物が身近にいるよ」
 中学年言語集会 1月16日

3年生が、下鴨の自然について調べたことをパンフレットにまとめ、それを元にして4年生に発表しました。グループごとにわかれて、全員が自分の見つけた自然のすばらしさを伝えました。4年生も、とても興味深く聞いていました。発表の後、質問をしたり、パンフレットを手にとって見せてもらったりして、よい交流の機会となりました。

「やってみたいな ボランティア」
 4年生下鴨かがやき学習 1月28日

本校では、社会福祉協議会の方を中心に「あいちサロン」で、「健康すこやかサロン」を開催されています。その会の代表の生谷さんに「小さな親切は、みんなのやさしさから」「ボランティアの輪が社会福祉に・・・」と子どもたちに分かりやすく話していただきました。
 4年生は、問いかけに活発に答えたり、自分の考えを述べたりしました。最後は自分のしたいボランティアを発表しました。

生谷さんに考えを述べる4年生

中学校編

平成15年度 京都市立洛東中学校【学校評価実施計画】 (案)

京都市立洛東中学校

1. 目的

教育を行う組織体としての学校がその機能をどの程度果たしているのかを、教育活動の全分野にわたって総合的・客観的に評価し、改善策を立て、それを洛東教育の充実・向上に生かすために行う。

◆自己評価の目的

- ①教育改革推進に向けた組織改革につなげていく
- ②教職員一人ひとりが担う役割についての責任感や学校運営の主体者であるとの自覚を高める。
- ③計画・実践・評価・見直しのサイクルを年間を通じて実施し、進展状況の把握と修正を迅速に行う。
- ④学校教育目標を実現する上での課題を焦点化し、その克服に向け全校体制で取り組む。

◆外部評価の目的

- ①子どもの課題をより多面的・具体的に把握する契機とする。
- ②育むべき子ども像を共有し、家庭・地域の役割についての認識を高める。
- ③学校からの情報発信のあり方を見直し、学校の取組への関心を高める。
- ④保護者や地域の願い・期待を把握することを通して、地域の学校としての責任を明確にする。

2. 評価対象

- ◆教育課程の編成と実施状況（教育目標、教育課程、教科・道徳、特活など）
- ◆校務分掌や校内研修・研究
- ◆予算編成や執行、施設・設備の管理
- ◆家庭・地域や関係諸機関との連携

3. 評価方法

- ◆全教職員が、評価用紙に記名式で記入・提出する。（7月・12月）
- ◆教務部が集計結果をまとめ、新教育課程委員会で検討する。
- ◆研修会で全教職員が集計結果についての意見交換を行う。（8月・2月）
- ◆分掌部会、運営委員会、新教育課程委員会などが関係する部分を検討し、改善策などをまとめて校長に提出する。
- ◆職員会議で検討し共通理解を図る。（9月・3月）

4. 評価票について…別紙参照

5. 評価の表記方法について

- ◆次の基準によって、評価欄に4～1までの数字を記入する。
 - 4…できている
 - 3…どちらかといえばできている
 - 2…どちらかといえばできていない
 - 1…できていない

6. 年間予定について

月	学校評価に関連する取組	校内体制	情報発信に関する取組
4月	学校教育目標の共通理解	職員会議	学校よりの発行・HP(学校より・月行事)の更新 授業参観
	生徒向けアンケートの実施(教育相談)	各学級担任	
	各分掌の基本方針の検討・作成	各分掌部会	
5月	各分掌の基本方針の共通理解	研修会	学校よりの発行・HP(学校より・月行事)の更新 授業参観
	各分掌の基本方針の決定	職員会議	
6月	評価項目の修正(必要に応じて)	運営委員会	学校よりの発行・HP(学校より・月行事)の更新 日曜参観
	保護者向けアンケートの実施(日曜参観) ※外部評価項目の立案	管理職・教務部	
7月	学校評価の実施(1回目)	職員会議	学校よりの発行・HP(学校より・月行事)の更新 地域懇談会 ↑ 生徒向けアンケート、よび保護者向けアンケートの結果の公表
	※外部評価項目(暫定版)の検討	運営委員会	
	評価票の集計・分析	管理職・教務部	
8月	評価票集計結果についての共通理解	夏季研修会	
	各分掌ごとの改善策の検討	各分掌部会	
	各分掌ごとの改善策の提案	職員会議	
9月			学校よりの発行・HP(学校より・月行事)の更新
10月	生徒向けアンケートの実施(教育相談)	各学級担任	学校よりの発行・HP(学校より・月行事)の更新
	評価項目の修正(必要に応じて)	運営委員会	
	※外部評価(暫定版)の実施	管理職	
11月	※外部評価(暫定版)のまとめ	管理職・教務部	学校よりの発行・HP(学校より・月行事)の更新
	学校評価の実施(2回目)	職員会議	
12月	評価票の集計・分析	管理職・教務部	学校よりの発行・HP(学校より・月行事)の更新
	※外部評価項目(決定版)の検討	運営委員会	
1月	評価票集計結果についての研修会 ※外部評価項目(決定版)の共通理解	研修会	学校よりの発行・HP(学校より・月行事)の更新
	各分掌ごとの改善策の検討	各分掌部会	
2月			学校よりの発行・HP(学校より・月行事)の更新
	年度末反省・次年度の方針確認	各分掌部会	
3月	次年度の評価項目の最終確認	運営委員会	学校よりの発行・HP(学校より・月行事)の更新
	次年度の学校教育目標の検討	管理職	
	次年度の方針確認・共通理解	職員会議	

※外部評価については、平成15年度は学校評議員・PTA役員レベルで実施し、平成16年度より本格的に実施する方向で進めていく

平成14年度 京都市立洛東中学校【学校評価票】 (案)

実施日 年 月 日 氏名

◆ 次の基準によって、評価欄に4～1までの数字を記入してください
4…できている 3…どちらかといえばできている 2…どちらかといえばできていない 1…できていない

1. 教育課程の編成と実施に関する自己評価

評価対象	観点	視点(全体として・教職員として・生徒の様子)	評価	割合
1 学校 教育 目設 標定 の と 実 現	実態把握	全 体	子どもや・地域の実態を十分把握し、子どものよさや個性を生かす内容になっていますか	1
		教 職	教育目標の設定理由、内容を十分に共通理解していますか	2
	重点目標	全 体	学校教育目標に即した内容・わかりやすい表現になっていますか	3
		教 職	重点目標の設定理由、内容について共通理解していますか	4
	学年・ 学級目標	全 体	学校教育目標の実現に向けた課題を具体化したものとなっていますか	5
		教 職	学年・学級目標は、子どもが実践可能な内容になっていますか 学年・学級目標をふまえた経営案や指導計画を編成していますか	6
2 教科 の 指 導	年間指導計画 実施計画	全 体	指導目標・内容・時期は学習指導要領の趣旨を実現する計画になっていますか	7
		教 職	指導目標・内容・時期等を共通理解し年間指導計画を作成していますか	8
	基礎基本の 内容の徹底	全 体	生きる力につながる基礎基本の内容の指導が、明確になっていますか	9
		教 職	基礎基本の内容について共通理解していますか	10
		生 徒	一人ひとりの子どもに基礎基本の内容が、身に付いていますか	11
	指導法の 工夫1	全 体	一人ひとりの子どものもつ個性や可能性を伸ばす学習を展開していますか	12
		教 職	子どもの実態にあった体験的な活動を計画し、実践していますか	13
	指導法の 工夫2	生 徒	一人ひとりの子どもが自ら進んで意欲的に学習し、充実感を味わっていますか	14
		全 体	一人ひとりの子どもに基礎的基本的な内容の徹底が図られていますか	15
		教 職	子どもの問題解決に向けた考えを大切に指指導を行っていますか	16
		生 徒	方法を工夫しながら問題解決に向けて学習していますか	17

評価対象	観点	視点 (全体として・教職員として・生徒の様子)	評価	割合
3 道徳の指導	年間指導計画 実施計画	全 目標・内容・時期は子どもの実態を踏まえ、学習指導要領の趣旨を実現する計画になっていますか		18
		教 指導目標・内容・時期等を教職員は共通理解し年間指導計画を作成していますか		19
	豊かな体験を通じた道徳性の育成	全 子どもの様々な体験を生かした指導の充実に向け、家庭や地域の協力を得ていますか		20
		教 望ましい道徳性を育てるために、豊かな体験が大切であることを共通理解していますか		21
		生 体験を生かした道徳の学習に子どもは意欲的に取り組んでいますか		22
	道徳的価値の自覚を深める指導	全 道徳的価値の自覚を深める指導の充実に向け、家庭・地域の協力を得ていますか		23
		教 道徳的価値の自覚を深める指導を充実する創意・工夫を行っていますか		24
		生 子どもが、道徳の時間に自分のもつ価値を振り返る取組をしていますか		25
	道徳的実践力の育成・実践を促す指導	全 道徳教育全体の調和を図りながら道徳的実践力を高める指導をしていますか		26
		教 道徳実践を促す指導を教育活動のなかで位置付けていますか		27
生 子どもに、道徳的心情や判断力等が育ち、道徳的実践力が身に付いてきていますか			28	
4 特別活動の指導	年間指導計画 実施計画	全 指導目標・内容・時期は子どもの実態を踏まえ、学習指導要領の趣旨を実現する計画になっていますか		29
		教 指導目標・内容・時期等を教職員は共通理解し年間指導計画を作成していますか		30
	個性やよさを生かした指導の展開	全 個性や可能性を生かした活動の意義を理解し、家庭や地域の理解を得る取組を進めていますか		31
		教 子どもが個性や可能性を発揮するのにふさわしい支援を行い、その活動を積極的に評価していますか		32
		生 活動をとおして自尊感情を高めるとともに、友だちのよさを認めようとしていたりする姿勢が育っていますか		33
	自主的・実践的な態度の育成	全 自主的・実践的な活動の場を確保し、活動の成果を家庭や地域にも知らせていますか		34
		教 子どもの自主的・実践的な活動に対して、関心・意欲を重視した適切な支援を行っていますか		35
		生 子どもは集団の一員としての自覚を持ち、意欲的に課題を解決しようとしていますか		36
	体験的な活動の重視	全 年間指導計画や毎時の指導に体験的な活動を意図的に取り入れようとしていますか		37
		教 体験的な活動を取り入れることを教職員は共通理解していますか		38
生 一人ひとりの子どもは、体験的な活動を通して充実感や成就感を味わっていますか			39	

評価対象	観点	視点 (全体として・教職員として・生徒の様子)	評価	割合
5 総合的な学習の時間	年間指導計画	全 学習指導要領の趣旨を生かし、子どもの発達段階にあった指導計画になっていますか		40
		教 子どもの興味・関心・ねがいや地域の教育資源等を生かした指導計画を共通理解していますか		41
		生 子どもの興味・関心・ねがいを生かした指導計画になっていますか		42
	指導の工夫	全 各教科で培われた基礎基本の内容をもとに、自ら課題を見つけ考え、解決する資質や能力を育てる活動を行っていますか		43
		教 地域や学校、子どもの実態を踏まえ、創意工夫を生かした教育活動に努力していますか		44
		全 子どもの興味・関心を生かし、問題解決的な学習になっていますか		45
		教 子どもの意欲を高め問題解決的な学習になるよう支援していますか		46
	指導の工夫	生 子ども自らが、意欲的に問題解決を図る学習となっていますか		47
		全 子どもの興味・関心・ねがいを生かした年間指導計画になっていますか		48
		教 選択履修の幅の拡大が図られ、適切な選択教科の指導を展開していますか		49
6 選択履修	全 子どもの個性やねがいが生かされる指導の工夫がされていますか		50	
	教 子どもの個性やねがいが生きる指導の工夫についての共通理解が図られていますか		51	
	生 子どもは、選択授業について意欲的に取り組み、充実感を味わっていますか		52	
	年間指導計画 実施計画	全 目標・内容・時期は、子どもの実態を踏まえた計画になっていますか		53
7 同和 人権 教育	教 目標・内容・時期等を教職員は共通理解し、年間指導計画を作成していますか		54	
	重点目標	全 学校教育目標に即した内容・わかりやすい表現になっていますか		55
		教 重点目標の設定理由、内容について共通理解していますか		56
	人権尊重の精神を育てる指導の展開	全 学校教育全般を通して、人権尊重の精神を育てる指導をしていますか		57
		教 人権尊重の精神を育てる指導を、教育活動のなかで位置付けていますか		58
		生 子どもに人権尊重の精神が育ち、同和・人権問題を「自分自身に関わる問題」としてとらえる態度が身に付いてきていますか		59
	8 学行 校事	全 学校の特色・地域の特色を考慮し、子どもが興味・関心をもち、積極的に参加する年間指導計画になっていますか		60
		教 子ども・地域の実態から自主的・実践的な活動について共通理解していますか		61

2. 教育課程の編成と実施を支える諸条件に関する自己評価

評価線	観点	視点(全体として・教職員として・生徒の様子)	評価	割合
8 学校行事	実施の状況	全 学校の特性や地域の特色を生かして学校行事が実施されていますか	※注 行事実施 ごとに評 価する	
		教 子どもたちが興味・関心をもち積極的に参加できるよう適切な指導が行われていますか		
		生 子どもは学校行事に興味・関心をもって、積極的に参加していますか		
9 生徒指導・ 進路指導	生徒指導の 充実	全 学年相互・学級相互に密接な連携を保ち、早期課題解決のための校内体制が確立されていますか		62
		教 子どもの立場に立って子どもに接する取組の意義・内容について共通理解していますか		63
		生 子どもは教職員に、気軽に相談していますか		64
	連携	全 校外における専門的な教育機関や他校種等と連携を図りながら子ども理解を深めていますか		65
		教 家庭・地域との連携を図りながら、一人ひとりの実態をふまえた指導を行っていますか		66
		生 担任の他にも、相談していますか		67
	進路指導	全 進路指導の系統的な指導を進める校内体制が確立されていますか		68
		教 子ども・家庭の理解を図りながら進路指導に当たっていますか		69
		生 子どもは、自分の個性を発揮し、自己実現への意欲を示していますか		70
10 評価	実施の方法	全 評価の在り方が共通理解され、教育活動全般について評価が行われ、次の計画に生かしていますか		71
		教 評価の観点や基準を共通理解していますか		72
		生 子どもは、評価が励みになっていますか		73
11 特色ある 教育活動	年間実施計画	全 子どもたちの実態や地域の特色をふまえた年間指導計画になっていますか	※注 詳細が決定後、評価項目に いれる	
		教 子どもたちの実態や地域の特色について共通理解していますか		
		生 子どもの実態にあった指導計画になっていますか		
	指導の充実	全 子どもたちの実態や地域の特色等を生かした内容の重点化が図られていますか		
		教 地域の特色を生かした活動を意図的に取り入れた指導を行っていますか		
		生 子どもは、特色ある取組について理解し積極的に参加していますか		

評価線	観点	視点(全体として・教職員として)	評価	割合
1 経営・ 組織	経営方針	全 経営方針が、教育活動に反映され、子どもに姿に姿がみられますか		74
		教 教育目標達成のための方策を共通理解し、その達成に向けお互いに協力していますか		75
	校務分掌1	全 教育課題の解決に向け分掌内容が明確化され、具体的な活動になっていますか		76
		教 各分掌の役割を理解し、その遂行に向けて意欲的に取り組んでいますか		77
	校務分掌2	全 教育課題を解決するため組織的に機能していますか		78
		教 各分掌の遂行に当たって教職員相互の連絡・調整を図っていますか		79
	学年 学級経営	全 教育目標に基づき、子どもの実態にあった学年・学級経営になっていますか		80
		教 教員と子どもたちの関係、子どもたち相互の関係を把握し、随時、学年学級経営について見直ししながら問題解決に努めていますか		81
	各種会議 委員会	全 情報交換と課題検討の場として、有効に機能していますか		82
		教 委員会・部会の目的・性格が教職員に共通理解され、相互の連絡・調整が図られていますか		83
2 研究・ 研修	校内	全 研究・研修のねらいや方法を明確にして研究活動に取り組んでいますか		84
		教 学校内で他の教職員の授業をみる機会が多く、授業法について検討する機会を積極的に設け、子どもの学習に反映していますか		85
	校外	全 校外での研究・研修が計画的に実施され、自校の研究に反映させていますか		86
		教 校外における研究会や研修会に積極的に参加し、指導力と実践力の向上に努めていますか		87
3 開 か れ た 学 校	家庭・地域	全 子どもの課題を共有するため、校内体制を整え、組織的に「学校を開く」取組を進めていますか	※注 詳細が決定後、評価項目に いれる	
		教 家庭・地域の連携の意義を共通理解し、積極的に家庭・地域にかかわっていますか		
	評議員	全 評議員の意見を共通理解し、積極的に活かそうとしていますか		
		教 評議員の意見を、積極的に自己の取組に活かそうとしていますか		
	他校種	全 子どもの理解を深めるため、他の校種との連携が計画的に図られていますか		
		教 他の校種との連携についての必要性を共通理解し、積極的な連携に努めていますか		
他機関	全 子どもの実態・課題把握と課題解決に向け、関係諸機関との連携を図っていますか			
	教 関係諸機関との連携を図るための情報交換の方法について共通理解し、積極的に活用していますか			

3. 外部評価

評価線	観点	視点 (全体として・教職員として)	評価	点
4	家庭への働きかけ	全体	家庭の果たすべき役割と課題についての共通理解が図られていますか	88
		教職員	個々の家庭の教育上の課題を把握し、親との話込みを行っていますか	89
	地域への働きかけ	全体	子どもたちの課題を説明し、その課題に向けた家庭の役割を提案していますか	90
		教職員	保護者がPTA活動や地域の活動に協力するよう働きかけをしていますか	91
		全体	PTAとともに家庭教育を高める取組を進めていますか	92
		教職員	家庭学習や読書の習慣が定着するよう具体的な課題提起を行っていますか	93
教職員	「基本的生活習慣」が定着するよう親との話込みを行っていますか	94		
5	地域への働きかけ	全体	地域の果たすべき役割と課題についての共通理解が図られていますか	95
		全体	学校と地域が連携し、子育ての支援が広がる取組ができていますか	96
		全体	子どもと大人がふれあう場としての地域行事の実施を提案していますか	97
		教職員	保護者や地域の方が地域行事に積極的協力するよう働きかけていますか	98
		全体	子どもが企画・運営から地域行事に参加するよう提案していますか	99
		教職員	子どもが進んで地域での活動に参加する意義を理解し、地域が家庭や子どもへ働きかけるよう働きかけていますか	100
6	出納・経理	全体	前年度の予算執行の評価が、今年度の年間執行計画の立案に活かされていますか	101
		教職員	予算の編成や執行について共通理解が図られ、適切に処理されていますか	102
		全体	教育目標達成のため、予算編成や執行が計画的・的確にできていますか	103
7	校舎	全体	学習効果を高めるための視点から子どもが活用しやすいよう配慮していますか	104
		教職員	教職員がそれぞれ役割分担し、効果的に活用するとともに日常的に点検し、適正な管理をしていますか	105
		全体	地域にも積極的に活用されるよう、配慮していますか	106
	教材・教具	全体	各教科の指導計画に基づいて、教材・教具を有効・適切に整備・管理・活用していますか	107
		教職員	教職員が役割分担し、協力して整備・管理に当たっていますか	108

評価線	観点	視点 (保護者として・地域および学校評議員として)	評価	点
1	設定	保護	学校教育目標は、子どもや保護者のねがいを踏まえたものとなっている	
		地域	学校教育目標は、子どもや、地域のねがいを踏まえたものとなっている	
	実態	保護者	学級・学年目標は、子どもの実態を踏まえたものになっている	
		保護者	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている	
		地域	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている	
		保護者	子どもは、毎日楽しく学校へ行っている	
2	各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間	保護者	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている	
		保護者	子どもには、仲のいい友達がいる	
	生指	保護者	子どもは学級は楽しいと言っている	
		保護者	子どもには、相談できる先生がいる	
	道徳	地域	子どもは、地域で多くの友だちと活動したり、遊んだりしている	
		保護	子どもは、進んであいさつが出来る	
	総合的な学習の時間	地域	子どもは、積極的にあいさつをしたり、礼儀正しい態度がとれる	
		保護	子どもは自分で調べたり、粘り強く問題を解決したりしようとしている	
		地域	子どもは、自分で進んで調べたり、学習したりしている	
		保護	子どもは、進んで学級や係の仕事をしている	
3	特色ある取組	保護	子どもたちや地域の実態をふまえた特色ある取組をすすめている	
		地域	子どもたちや地域の実態をふまえた特色ある取組をすすめている	

評価	観点	視点（保護者として・地域および学校評議員として）	評価	番号	
4 組織 と 運営	実態	保護者	教職員は、子どもと一緒によく活動している		
		保護者	子どもにわかりやすい、工夫した授業が行われている		
	地域	地域	教職員は、子どもと一緒によく活動している		
		地域	子どもは元気よく授業に参加している		
組織	保護者	教職員間の連携がよくとれている			
5 開 か れ た 学 校	実態	保護者	学校だよりや学年・学級だよりで学校のことがよくわかる		
		保護者	授業参観・懇談会の開催は、適当である		
		保護者	学校には、気軽に相談できる先生がいる		
		保護者	教職員は家庭訪問や地域の行事に積極的に参加している		
	地域	地域	学校だより等で学校の取組がよくわかる		
		地域	学校は、学校参観をよく設けている		
		地域	学校には、行きやすい雰囲気がある		
		地域	教職員は、地域行事に積極的に参加している		
6 施 設 ・ 設 備	実態	保護者	学校は、事故防止等安全によく配慮している		
		保護者	施設・設備は整理・整頓されている		
	地域	地域	学校は、子どもの安全についてよく把握している		
7 評 価	保護者	保護者	通知票は、子どもの個性や努力がわかりやすく記述されている		
		保護者	通知票は、子どもの学習状況や達成度がわかりやすく記述されている		

評価	観点	視点（保護者として・地域および学校評議員として）	評価	番号		
8 家 庭 ・ 地 域 の 役 割	活動	保護者	地域での活動に子どもたちと参加している			
		保護者	P T A活動や地域での活動に進んで参加・協力している			
		地域	地域での行事により多くの子どもや地域の方が参加できるよう工夫をしている 学校教育活動や地域行事に進んで参加・協力している			
	子育て	子育て	子育て	家庭学習や読書の習慣が身に付くような環境づくりに努めている		
		保護者	保護者	子どもとのふれあいや対話を持つよう努力している		
			保護者	「基本的生活習慣」が身に付くように努力している		
		保護者	家族で家庭の役割を決めている			
	連携	保護者	地域	子どものいる家庭へ積極的に声かけをするなど地域全体で子育てを支援している		
地域			子どもたちの健全育成を目指して、あいさつや声かけを地域ですすめている			
連携	保護者	連携	授業参観や懇談会に参加している。学校の教育方針・目的を理解し、家庭の教育をすすめている			

◆ 自分が出した評価点に対して、意見および改善策を持っておられる方は記入してください

評価番号	評価点	意見および改善策

学校評価票に関するアンケート

(1) 評価項目の中で、意味のわかりにくい項目があれば、その番号を記入してください。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(2) 評価項目の中で、書きにくい(評価しにくい)項目があれば、その番号を記入してください。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(3) 評価項目の中で、不必要と思われる項目があれば、その番号を記入してください。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(4) 評価項目の中に、追加したほうがよいと思われる項目があれば、記入してください。

--

(5) その他、学校評価票に関してのご意見・感想があれば、記入してください。

--

平成14年度 京都市立洛東中学校【学校評価票・洛東版】 (案)

実施日 年 月 日 氏名

◆ 次の基準によって、評価欄に4～1までの数字を記入してください

4…できている 3…どちらかといえばできている 2…どちらかといえばできていない 1…できていない

1. 教育課程の編成と実施に関する自己評価

評価対象	観点	視点 (全体として・個人として・生徒の様子)	評価	番号
1 学 校 の 教 育 定 目 と 学 級 目 標 実 現	実態把握	全 体 子どもや・地域の実態を十分把握し、子どものよさや個性を生かす内容になっていますか		1
	重点目標	個 人 重点目標の設定理由、内容について共通理解していますか		2
	学年・学級目標	全 体 学校教育目標の実現に向けた課題を具体化したものとなっていますか		3
	学級目標	全 体 学年・学級目標は、子どもが実践可能な内容になっていますか		3
	学級目標	個 人 学年・学級目標をふまえた経営案や指導計画を編成していますか		4
	年間指導計画	個 人 指導目標・内容・時期等を共通理解し年間指導計画を作成していますか		5
	実施計画	個 人 生きる力につながる基礎基本の内容の指導が、明確になっていますか		6
	基礎基本の内容の徹底	個 人 一人ひとりの子どもに基礎基本の内容が、身に付いていますか		7
	指導法の工夫1	個 人 一人ひとりの子どものもつ個性や可能性を伸ばす学習を展開していますか		8
指導法の工夫2	個 人 一人ひとりの子どもに基礎的基本的な内容の徹底が図られていますか		9	
3 道 徳 の 指 導	年間指導計画	個 人 指導目標・内容・時期等を教職員は共通理解し年間指導計画を作成していますか		10
	実施計画	個 人 道徳的価値の自覚を深める指導を充実する創意・工夫を行っていますか		11
	道徳的価値の自覚を深める指導	個 人 道徳的価値の自覚を深める指導を充実する創意・工夫を行っていますか		11
	道徳的実践力の育成・実践を促す指導	生 徒 子どもに 道徳的心情や判断力等が育ち、道徳的実践力が身に付いていますか		12

評価対象	観点	視点 (全体として・個人として・生徒の様子)	評価	番号
4 特 別 活 動 の 指 導	年間指導計画	個 人 指導目標・内容・時期等を教職員は共通理解し年間指導計画を作成していますか		13
	実施計画	全 体 個性やよさを生かした活動の意義を理解し、家庭や地域の理解を得る取組を進めていますか		14
	自主的実践的な態度の育成	全 体 自主的・実践的な活動の場を確保し、活動の成果を家庭や地域にも知らせていますか		15
	体験的な活動の重視	個 人 体験的な活動を取り入れることを教職員は共通理解していますか		16
5 総 学 習 的 な 時 間 選 択 履 修	年間指導計画	個 人 子どもの興味・関心・ねがいや地域の教育資源等を生かした指導計画を共通理解していますか		17
	指導の工夫1	全 体 各教科で培われた基礎基本の内容をもとに、自ら課題を見つけ考え、解決する資質や能力を育てる活動を行っていますか		18
	指導の工夫2	生 徒 子ども自らが、意欲的に問題解決を図る学習となっていますか		19
	指導の工夫	生 徒 子どもは、選択授業について意欲的に取り組み、充実感を味わっていますか		21
7 和 人 権 教 育	年間指導計画	全 体 目標・内容・時期は、子どもの実態を踏まえた計画になっていますか		22
	実施計画	全 体 人権尊重の精神を育てる指導をしていますか		23
	人権尊重の精神を育てる指導の展開	個 人 人権尊重の精神を育てる指導を、教育活動のなかで位置付けていますか		24
	人権尊重の精神を育てる指導	個 人 人権尊重の精神を育てる指導を、教育活動のなかで位置付けていますか		24
8 教 育 研 究	年間指導計画	全 体 学校の特徴・地域の特徴を考慮し、子どもが興味・関心をもち、積極的に参加する年間指導計画になっていますか		25
	生徒指導の充実	全 体 学年相互・学級相互に密接な連携を保ち、早期課題解決のための校内体制が確立されていますか		26
9 徒 進 指 導	連携	全 体 校外における専門的な教育機関や他校種等と連携を図りながら子ども理解を深めていますか		27
	進路指導	全 体 進路指導の系統的な指導を進める校内体制が確立されていますか		28
10 評 価	実施の方法	全 体 評価の在り方が共通理解され、教育活動全般について評価が行われ、次の計画に生かしていますか		29
	評価の観点や基準	個 人 評価の観点や基準を共通理解していますか		30
	評価の励み	生 徒 子どもは、評価が励みになっていますか		31

2. 教育課程の編成と実施を支える諸条件に関する自己評価

評価対象	観点	視点 (全体として・個人として)	評価	得点
1 経営・組織	経営方針	全 教育目標の達成に向け、お互いに協力していますか 体		32
	校務分掌	個 各分掌 (各種会議・委員会) の役割を理解し、その遂行に向けて意欲的に取り組んでいますか		33
		個 各分掌 (各種会議・委員会) の目的・性格が教職員に共通理解され、相互の連絡・調整が図られていますか		34
	学年学級経営	全 教育目標に基づき、子どもの実態にあった学年・学級経営になっていますか 体		35
2 研究・研修	校内	全 研究・研修のねらいや方法を明確にして研究活動に取り組んでいますか 体 か・研究や研修の組織が確立しており、計画的に実施されていますか		36
		個 学校内で他の教職員の授業をみる機会が多く、授業法について検討する機会を積極的に設け、子どもの学習に反映していますか		37
	校外	個 校外における研究会や研修会に積極的に参加し、指導力と実践力の向上に努めていますか 人		38
3 家庭への働きかけ		全 子どもたちの課題を説明し、その課題に向けた家庭の役割を提案していますか 体		39
	個 家庭学習や読書の習慣が定着するよう具体的な課題提起を行っていますか 人		40	
4 地域への働きかけ		全 地域の果たすべき役割と課題についての共通理解が図られていますか 体		41
	全 学校と地域が連携し、子育ての支援が広がる取組ができていますか 体		42	
5 出納経理	予算編成および執行	全 教育目標達成のため、予算編成や執行が計画的・的確にできていますか 体		43
		個 予算の編成や執行について共通理解が図られ、適切に処理されていますか 人		44
6 施設設備	校舎	個 教職員がそれぞれ役割分担し、効果的に活用するとともに日常的に点検し、適正な管理をしていますか 人		45
	教材・教具	個 各教科の指導計画に基づいて、教材・教具を有効・適切に整備・管理・活用していますか 人		46

3. 外部評価

評価対象	観点	視点 (保護者として・地域および学校評議員として)	評価	得点
※次年度以降の検討課題				

養護学校 編

平成14年度 京都市立東養護学校 学校評価

平成14年10月17日

京都市立東養護学校

1. 目的

学校教育目標の達成状況を子ども達の実態の上に立って、学校総体・教職員一人ひとりの段階で明らかにし、その結果を学校教育活動の充実・向上につなげていく。

【自己評価の目的】

- ① 学校目標を実現する上での課題を明確にし、本校教育の一層の充実を図る。
- ② 自己評価をすることで教職員一人ひとりの目的意識とそれぞれが担う役割についての責任感や学校運営の主体者であることの自覚を高める。
- ③ 個別の指導計画と学習指導の実践について自己点検することで、より充実したシステムの構築を図る。

【外部評価の目的】

- ① 自己評価に客観性を持たせる。
- ② 学校からの情報発信のあり方を見直し、学校の取組への関心を高める
- ③ 個別の指導計画と学習指導等について保護者の意見を聞き、子どもが主体の教育の充実を図る。

2. 評価対象

- 教育課程の編成とその実施状況
- 家庭・地域や関係諸機関との連携
- 校務分掌や校内研修・研究
- 予算編成や執行、施設・設備の管理

3. 評価方法

- 全教職員が評価用紙に記名式で記入して副教頭に提出。(10月31日までに)
- 評価結果の集計・分析。
- 結果公表
- 経営部会、運営委員会、分掌部会、各種委員会などが関係する部分を検討し、改善策などをまとめる。
- 改善策などは運営委員会、職員会議で確認し、共通理解を図る。

平成14年度 京都市立東養護学校 学校評価

4. 評価の表記方法（4段階評価）

次の基準によってA～Dの4段階で評価する

- A できている
 B どちらかといえばできている
 C どちらかといえばできていない
 D できていない

5. 学校評価実施計画

月	取組内容	担当	外部への情報発信
4月			東通信 学年だより等 家庭訪問 教育課程説明会
5月			東通信 学年だより等
6月			東通信 学年だより等 休日参観 オープンスペース
7月	学校評価についての企画・検討	経営部会	東通信 学年だより等 ケース会
8月	実施計画の立案・評価項目の検討	経営部会	
9月	経営部会で自己評価の実施 実施計画案・評価項目についての検討	経営部会	学年だより等 学校祭運動の部休日開催
10月	学校評価についての校内研修会	運営委員会 全教職員	東通信 学年だより等
	自己評価の実施	全教職員	
	外部評価項目の検討	経営部会	
11月	自己評価の集計・分析	経営部会	東通信 学年だより等
	外部評価の実施（保護者） 外部評価の集計・分析	経営部会	
12月	結果公表、評価結果の共通理解 中間のまとめ	職員会議	東通信 学年だより等 ケース会
	1月	評価項目の見直し 改善策の検討	
2月	年度末反省・改善策の検討 全体としてのまとめ	経営部会・運営委員会 分掌部会 各種委員会	東通信 学年だより等 ケース会
	3月	来年度方針の確認・共通理解	

実施日 14年 10月 日 氏名

次の基準によってA～Dの4段階で評価してください
 A…できている B…どちらかといえばできている C…どちらかといえばできていない D…できていない
 * 全体…学校・学部全体で 教職…教職員一人ひとりの段階で
 ゴシック体数字は学部全体の視点で

1. 教育課程の編成と実施に関する自己評価

評価対象	観点	視点（全体として・教職員として）	評価	番号
学校教育目標の設定と実現	学校教育目標	全体	子どもや家庭・地域社会の実態を把握し、子どものよさや個性を生かす内容になっていますか	1
		教職	「伸び伸び」、「共に」、「たくましく」、「生きぬく」の4つの視点について内容が理解できていますか	2
	教育目標達成のための基本方針	全体	教育目標の達成に向けて、わかりやすい内容になっていますか	3
		教職	基本方針の内容が理解できていますか	4
	学校重点目標	全体	学校教育目標に即した内容、分かりやすい表現になっていますか	5
		教職	重点目標の設定理由、内容について理解できていますか	6
	学部重点目標	全体	学校教育目標の実現に向けた課題を具体化したものになっていますか	7
		教職	学部重点目標の設定理由、内容について理解できていますか	8
個別の指導計画について	作成の意義	全体	個別の指導計画作成の意義が明確になっていますか	9
		教職	個別の指導計画作成の意義について理解していますか	10
	実態把握とアセスメント	全体	児童生徒の実態把握とアセスメントの方法が明確になっていますか	11
		教職	実態把握とアセスメントの重要性について理解し、適切な方法で進められていますか	12
	三者の願い	全体	本人の願い・保護者の願いを尊重し、子どもが主体の教育を展開する意義が明確になっていますか	13
		教職	本人を中心に、「今、どうしたいか」「将来はどうありたいか」を考えて、指導者の願いが出せていますか	14
	願いの聞き取り	全体	保護者から具体的な要望や願いを聞き取るための方法が明確になっていますか	15
		教職	日頃から保護者との関係づくりに努め、具体的な願いを聞き取るようにしていますか	16
	願いの反映	全体	個別の指導計画作成の過程で保護者が参加し、本人及び親の願いが反映されるシステムができていますか	17
		教職	ケース会等で聞き取った本人の願い・保護者の願いが個別の指導計画に反映されていますか	18
十分な説明と同意 I	全体	作成の過程で、目標や指導内容・方法等について、保護者に十分な説明をし、同意を得るシステムが作られていますか	19	
	教職	個別の指導計画の実践について責任を持ってわかりやすい説明をし、保護者の同意を得ていますか	20	

評価対象	観点	視点 (全体として・教職員として)	評価	番号
個別の指導計画について	十分な説明と同意 II	全体	保護者に対して、指導の経過を明らかにし、指導結果について報告するシステムが作られていますか	21
		教職	指導結果について責任を持ってわかりやすい説明をすると共に、以後の方針をはっきり示せていますか	22
	目標設定 I	全体	児童生徒の課題を4つの生きる力毎に、4つの領域で分析する方法が明確になっていますか	23
		教職	児童生徒の課題を分析し、長期的な視点を持った目標設定ができていますか	24
	目標設定 II	全体	長期目標・短期目標・学期目標が評価可能な目標になっていますか	25
		教職	子ども自身にもわかる行動目標が設定できていますか	26
	目標設定 III	全体	行動レベルで示される具体的目標と、そこに向かうためのプロセスが明確になっていますか (実行プログラム)	27
		教職	授業に落とし込むための具体的な目標が設定できていますか	28
	指導計画の見直し	全体	子どもの目標達成度に応じて指導計画の見直しができていますか	29
		教職	子どもの学習の様子を記録し、目標達成度に応じて指導計画に修正・変更を加えていますか	30
	情報の共有	全体	指導を担当しているグループ(学年・課題別等)の子どもの学習に関する情報の共有ができていますか	31
		教職	学部及び学年、学習グループの子どもの学習に関する情報を把握していますか	32
	指導計画	全体	児童生徒の実態に応じた学期・月・週・単元(題材)ごとの指導計画になっていますか	33
		教職	指導の形態の特質を生かし、児童生徒の実態に応じて学期・月・週・単元(題材)毎の指導計画を作成していますか	34
指導計画の修正	全体	学習展開に合わせて計画を修正し発展させるなど、柔軟で弾力的な計画が立てられていますか	35	
	教職	児童生徒の目標の達成度に合わせて柔軟に学習計画を修正しながら指導できていますか	36	
基礎基本の内容の徹底	全体	一人ひとりの子どもに必要な基礎的基本的な内容の徹底が図られていますか	37	
	教職	基礎的基本的な内容の定着が図れるように教材や活動内容の精選を図っていますか	38	
指導法の工夫 I	全体	個々の児童生徒の生活に結びついた具体的な学習が展開されていますか	39	
	教職	具体的な活動を計画し、学習の成果が実際の生活に生かされるよう配慮していますか	40	
指導法の工夫 II	全体	子どもの現時点でできていることに目を向け、できていること、できていないことを明確にしていますか	41	
	教職	見直し(指導仮説)をもって手だてを考え、できる状況作りをしていますか	42	
指導法の工夫 III	全体	学習を続ける中でよりできるようになったことは、支援を少なくしていく方向で指導できていますか	43	
	教職	現在の子ども姿から、どうすれば支援を少なくできるかを常に考えて指導していますか	44	
指導内容の選択	全体	個別の指導計画から出発し、目標達成に適した学習内容(題材)が準備できていますか	45	
	教職	子どもの興味・関心を考慮した学習内容を準備し、指導内容の個別化を図っていますか	46	

教科・領域の指導について

評価対象	観点	視点 (全体として・教職員として)	評価	番号
教科・領域の指導について	指導の形態	全体	児童生徒の障害及び発達の状態、特性等を十分にふまえ、教科・領域を合わせた指導の充実が図られていますか	47
		教職	児童生徒の目標達成に相応しい指導の形態を選択し、創意工夫を生かした効果的な指導をしていますか	48
	授業形態	全体	個別の指導計画から出発し、目標達成に適した授業形態をとっていますか(グループ別、学級別、個別など)	49
		教職	児童生徒の目標達成に相応しい授業形態を検討し、柔軟に授業形態を工夫していますか	50
	自立活動	全体	自立活動の目標や内容について理解し、個々の児童生徒の実態に応じて指導が進められていますか	51
		教職	個々の児童生徒の実態に応じて自立活動の指導、または自立活動の時間における指導を適切に行なっていますか	52
	道徳の指導	全体	学習指導要領の趣旨を実現し、豊かな体験を通して道徳性を育成する指導計画になっていますか	53
		教職	望ましい道徳性を育てるために創意工夫した指導を行なっていますか	54
	特別活動	全体	子どもが個性や可能性を発揮し、自主的・実践的な活動ができる指導計画になっていますか	55
		教職	子どもが個性や可能性を発揮し、活動を通して自尊感情を高められるよう支援できていますか	56
	総合的な学習の時間	全体	学習指導要領の趣旨を実現し、生徒の興味・関心・願いを生かした活動を行なっていますか	57
		教職	生徒の興味・関心・願いを生かし、生徒が自ら取り組める課題解決的な学習になっていますか	58
	進路指導(進路の学習)	全体	児童生徒一人ひとりの現在及び将来にわたるより自立的な社会参加を目指した指導ができていますか	59
		教職	進路指導の流れを共通理解し、児童生徒の育ちにに応じて、より自立的な社会参加を目指した指導ができていますか	60
	人権に関する指導	全体	教育活動全体を通して人権尊重の精神を培うよう、計画的に学習活動の機会を設けていますか	61
		教職	教科、他の領域との関連を図り、人権尊重の精神を培う指導をしていますか	62
	学校行事	全体	種類ごとに内容の重点化と他領域との関連を図り、児童生徒の自主的・実践的な活動が展開されていますか	63
		教職	教科・他の領域との関連を図り、個々の児童生徒の活動のねらいを明確にした指導をしていますか	64

教科・領域の指導について

2. 教育課程の編成と実施を支える諸条件に関する自己評価

評価対象	観点	視点 (全体として・教職員として・児童生徒の様子)	評価	番号
運営・組織	各種委員会	全体	情報交換と課題検討の場として有効に機能していますか	65
		教職	委員会の目的性格を理解し、相互の連絡・調整が図られていますか	66
	学年・学級経営	全体	教育目標に基づき、子どもの実態にあった学年・学級経営になっていますか	67
		教職	教員と子どもの関係、子どもたち相互の関係を把握し、随時、見直ししながら課題解決に努めていますか	68
	一貫した教育	全体	小・中・高一貫した教育活動が推進できていますか	69
		教職	小・中・高一貫した系統的な指導形態、指導内容について、生活の広がりを考えた工夫をしていますか	70
	学部間の連携	全体	副教頭・学部長を中心とし、全校的な視野で学部間の連携がとれていますか	71
		教職	子どもの育ちに合わせて一貫した教育が推進できるよう連携をとっていますか	72

4. 学校評価票に関するアンケート

(1) 評価項目の中で評価しにくい項目があれば、その番号を書いてください。

(2) 評価項目の中で意味のわかりにくい項目があれば、その番号を書いてください。

(3) 評価項目の中に追加すればいいと思われる項目があれば記入してください。

(4) 学校評価についての意見・感想があれば記入してください。

保護者様

本校の取組に関するアンケート

平成14年11月25日
京都市立東養護学校

次の基準によってA～Dの4段階でお答えください（○でかこんでください）
A…はい B…どちらかと言えばはい C…どちらかと言えばいいえ D…いいえ

NO	アンケート項目	お答え
1	教育方針を保護者に分かりやすく伝えてありますか	A・B・C・D
2	家庭訪問やケース会などで、保護者の願いを十分に聞き取っていますか	A・B・C・D
3	個別の指導計画に保護者の願いや子どもの願いが反映されていますか	A・B・C・D
4	個別の指導計画の実践（目標や学習内容）についてわかりやすく説明し、保護者の同意を得ていますか	A・B・C・D
5	指導の経過や結果について分かりやすく説明し、以後の指導方針をはっきり示していますか	A・B・C・D
6	通知票は、子どもの学習状況や達成度がわかりやすく記述されていますか	A・B・C・D
7	子どもに合った、わかりやすい、工夫した授業が行われていますか	A・B・C・D
8	教職員は、子どもの活動や様子に合わせて適切な支援をしていますか	A・B・C・D
9	教職員間の連携がよく取れていますか	A・B・C・D
10	「東養護通信」・「ひかりのもり」・「きゅうしょくだより」・「学年だより」等で学校全体の取組がよくわかりますか	A・B・C・D
11	学校には、困っていることなど、どんなことでも気軽に相談できますか	A・B・C・D
12	学校は子どもの安全についてよく把握し、事故防止に配慮できていますか	A・B・C・D
13	施設・設備は、よく整理・整頓し、子ども達が使いやすいようになっていますか	A・B・C・D

ご協力ありがとうございました

11月29日までに担任までご提出ください

*本校の取組に関してご意見がございましたら裏面にご記入ください

東養護通信

平成14年度
第5号

京都市立東養護学校

平成14年12月10日(火)

朝夕の冷え込みも増し、関東地方では初雪が降りました。今年も残すところあと20日ほどになりました。子どもたちは、今学期も毎日の学習やさまざまな行事の中で目標に向かって力いっぱい努力する姿をたくさん見せていました。もうすぐ冬休みに入ります。2学期の学習のまとめを十分にやり、新しい年につなげていきたいと思ひます。

児童生徒の活躍

【小学部】

☆11月30日(金)に、山科支部駅伝交歓会が疎水公園で行われました。6年生3名が参加しました。体調にもかかわらず、出場は1名となりましたが、応援も含めて他校の児童との交流を深めました。

【中学部】

☆11月10日(日)に、京都北文化会館大ホールでミュージカルグループが中学校総合文化祭演劇部門の発表会に参加しました。賛助出演した1・2年生の生徒を含め10名が広いステージの上で楽しくのびのびとした演技を繰り広げました。

【高等部】

☆11月23日(土)勤労感謝の日に、山科中央公園で「ふれあい“やましな”2002区民まつり」が開催されました。高等部の和太鼓グループが出演し、大勢の参加者の前で演奏を披露しました。

☆12月1日(日)にハートピアで行われた京都市福祉研修大会で、水泳の全国大会に出場し銀メダルを獲得した2年生の田村君が、貴重な体験をもとに発表しました。

また、同じ日に高野のスポーツセンターで行われた「ふれあい卓球バレー大会」には高等部から3チーム出場し、1年生チームが3位に入りました。



山科支部PTAコーラス交歓会

11月2日(土)に東部文化会館で、支部14校(小学校13、東養護学校)が集い、PTAコーラス交歓会が行われました。本校PTA「ひかりの森コーラス」は、「上を向いて歩こう」と「千と千尋の神隠し」の2曲を披露し、力溢れる素晴らしいステージとなりました。「心あたまる活動」を今後も続けていきたいと思ひます。

京都市PTAフェスティバル

12月14日(土)に国立京都国際会館で京都市PTAフェスティバルが開催されます。高等部の生徒も作業学習製品の販売で参加します。保護者の皆様のご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

お知らせ～養護学校再編に向けた改修工事について

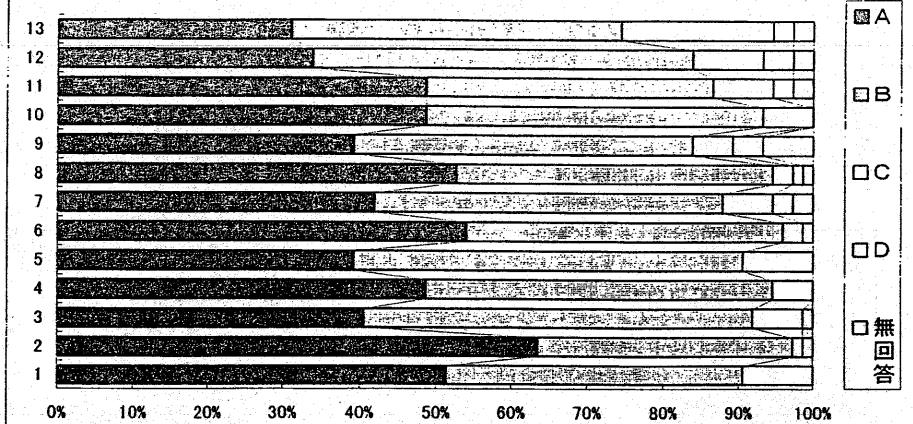
平成16年の再編に向けた既設3養護学校(呉竹・西・東)の改修工事の概要は、7月の東養護通信でお知らせしましたが、今年度は呉竹養護学校と西養護学校の改修工事が行われました。呉竹養護学校の工事はほぼ終了し、体育館とプールの間にあったバス車庫を改修して多目的作業学習棟が建設され、トイレや更衣室も新設されました。西養護学校の工事は来年初めの予定です。東養護学校については、平成15年度に工事が行われる予定ですが、現在この内容について検討が行われています。

☆12月是人権月間です

学校評価について

11月にとらせていただいた、本校の取り組みに関するアンケートの集計ができましたので裏面にお知らせします。ご協力ありがとうございました。保護者の皆様からいただいたご意見を生かし、よりよい学校づくりを目指していきます。

学校の取組に関するアンケート調査結果



A…「はい」 B…どちらかと言えば「はい」 C…どちらかと言えば「いいえ」 D…「いいえ」

アンケート項目

13. 施設・設備は、よく整理・整頓し、子ども達が使いやすいようになっていますか
12. 学校は子どもの安全についてよく把握し、事故防止に配慮できていますか
11. 学校には困っていることなど、どんなことでも気軽に相談できますか
10. 「東養護通信」「ひかりのもり」「きゅうしよくだより」「学年便り」等で学校全体の取組がよくわかりますか
9. 教職員間の連携がよくとれていますか
8. 教職員は子どもの活動や様子に合わせて適切な支援ができていますか
7. 子どもに合った、わかりやすい、工夫した授業が行われていますか
6. 通知票は子どもの学習状況や達成度がわかりやすく記述されていますか
5. 指導の経過や結果についてわかりやすく説明し、以後の指導方針をはっきり示していますか
4. 個別の指導計画の実践(目標や学習内容)についてわかりやすく説明し、保護者の同意を得ていますか
3. 個別の指導計画に保護者の願いや子どもの願いが反映されていますか
2. 家庭訪問やゲーム会等で、保護者の願いを十分に聞き取っていますか
1. 教育方針を保護者にわかりやすく伝えてありますか

先日のアンケート調査では、お忙しい中、79家庭からご回答いただき、あわせて下記の通り貴重なご意見を聞かせていただきました。ありがとうございました。

- ・ 学習では本人に合うようにわかりやすく配慮してもらっている。
- ・ 担任が代わっても指導内容を継続し、発展的に取組を進めてほしい。
- ・ 子どもの安全には十分配慮してほしい。
- ・ それぞれの子どもに適した指導内容・方法の充実を図ってほしい。
- ・ 「個別の指導計画」の目標をさらに長期的な観点から説明してほしい。
- ・ トイレをもっと使いやすいようにしてほしい。
- ・ 乗り降りしやすいスクールバスにしてほしい。
- ・ 子どもの気持ちをしっかりとつかみ、子ども達が「明日も行きたいなあ」と思えるように活動を工夫してほしい。
- ・ 日常的に体を動かす活動を増やし丈夫な体づくりをしてほしい
- ・ アンケート調査はいいことだが、提出の仕方を工夫してほしい。
- ・ 教員を増やしてほしい。
- ・ 学部間の教員の連携を図ってほしい。 など

今回のアンケート調査の結果を今後の学校運営に生かし、施設・設備面の改善、子ども達の事故防止、学部間の連携、指導内容の充実、指導内容や結果等についてのわかりやすい説明、等々について検討し、より充実した教育活動を展開するよう努めていきたいと思ひます。

